日本諸州藥譜

田村藍水自筆

稿本

全

伊藤篤太郎記

別圖 7 33

別11 5

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号 寄別11-5

ガラス使用

此日本諸州藥譜壹部ハ田村藍水
先生ヨリ自筆ニシテ嘗テ大淵祐元氏
（栗本瑞見翁ノ孫ニシテ自主和魚譜ヲ編次
梓行シ又、廛章廣爵考貳冊ヲ著ス）ヨリ余ガ
王父錦窠伊藤主介先生ニ贈リシモノ
ナリトテ先生ヨリ余ニ賜ハリタルモノナルヲ先生ノ
遺志ニヨリ製本ニ附シ閲覧ニ便ゼムト欲スルニヲ
明治七年五月上旬　東京ニ於テ
伊藤篤太郎誌ス

田村藍水翁稿本
日本諸州薬譜

此稿ハ田村藍水翁ノ著述日本諸州薬譜ノ原稿ニシテ大淵ハ祐元氏ノ獲ヘ来テ余ニ投与セシノ冊子ナリ甚シク塗抹シ廃紙ハ状ヲ大然先輩大家ノ遺墨ナレバ亦好古ノ一トシテ敢テ左右ノ観ヲナスベカラズ　錦窠老人記

或ハ此稿本ノ端ノ上ヲ少シク截リ御用紙ナスベキ適宜ヲ考ヘ之也

大淵常範拝

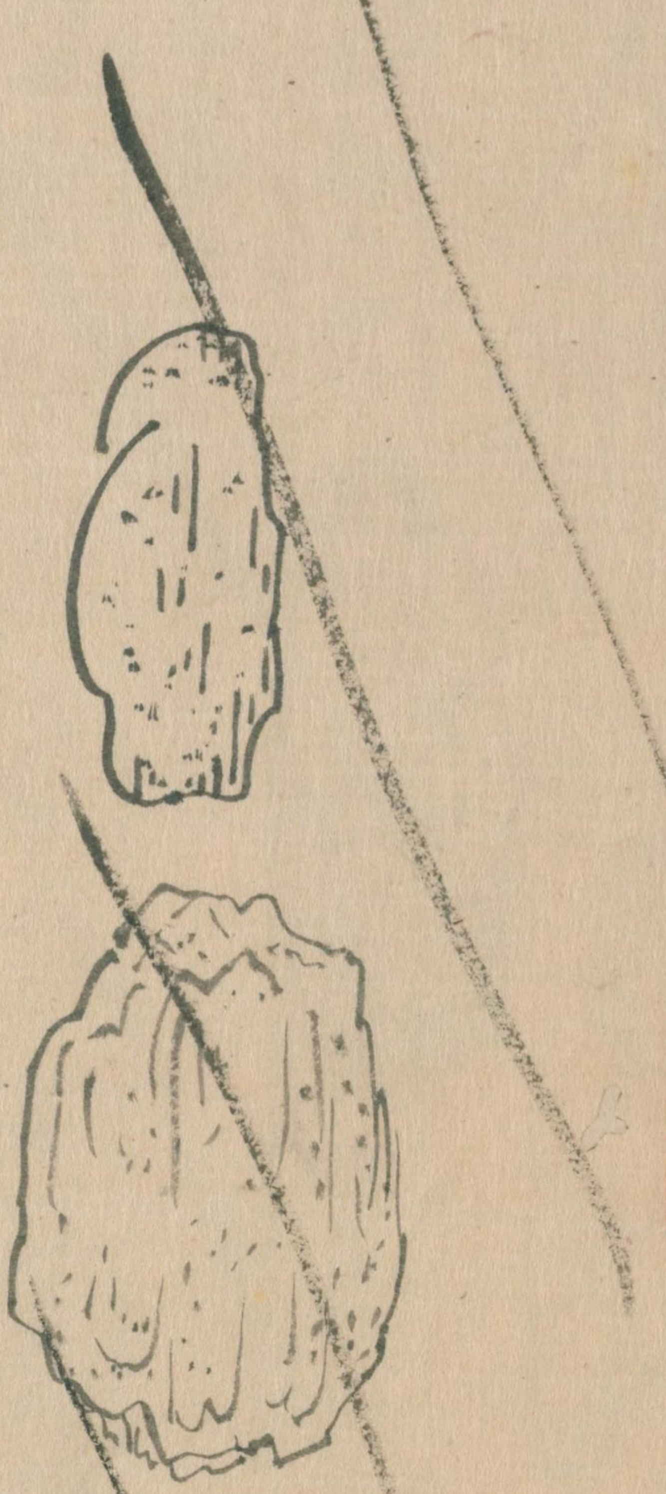
尾張伊藤圭介之記

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号　寄別11-5

ガラス使用

日本諸州藥譜土類

白堊土



豊後州球珠郡山中ニ白堊土ヲ出ス俗呼テ本白土ト称ス甚上品ナリ其次ハ山州ノ莿玉及清水、黒谷、蓑内、佐屋田野、園、上賀茂及吉田神楽岡處々皆白堊土ヲ出ス麁器トナシテ甚良也

十二

戊子九月十四日

赤土

其産尾州ノ瀬戸播州ノ西山阿波ノ白土肥前ノ唐津龍造寺ノ山中皆白堊土ヲ出ス其質堅ク其色淡赤也讃岐州ノ白堊ハ其色甚白ニテ麤澁ト雖トモ爲テ佳シ

備前州及薩州多ク赤土ヲ出ス今多ク器物ニ作其色甚赤シ

3

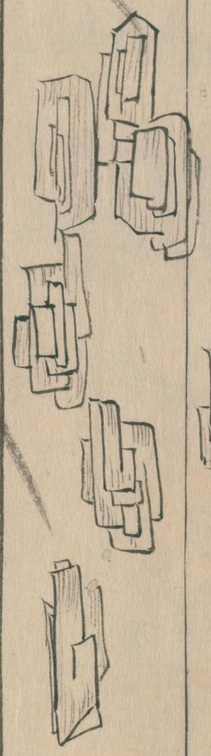
輕粉

唐産之者。尤爲上品。今長加之産。亦多出之。其形似煙消而深綠色。大小不齊。実

今野州日光山ノ内ヨリ此ノ出ス

勢州白根村ノ銅ヲ以テ製ス

流出スル者東ノ煎錬スル時ハ堀ヲ作ス大毒アリ即採リ得テ

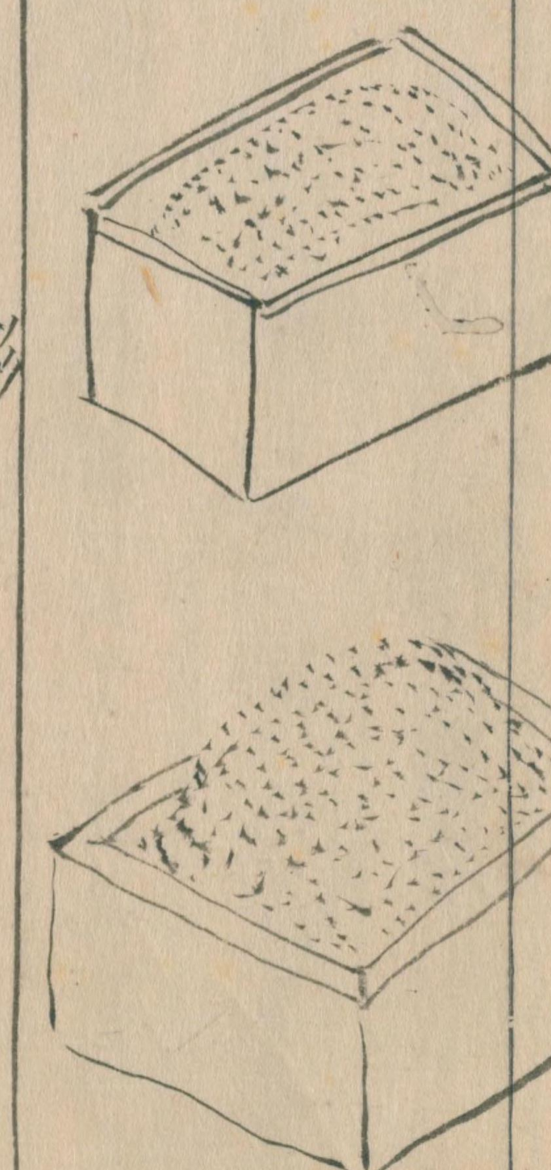


国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号 寄別11-5

ガラス使用

稲氏炮炙全書
詳述之

今勢州多此ヲ出ス俗呼テ波羅屋ト称ス又葉白粉ト称



ス藥肆ニ呼テ軽量ト称スル者即上品ナリ藥ニ入レ用フ

べし此ノ物水銀ヲ煆テ此ヲ作ル甚造法アリ

丹砂

多シ又肥州阿曽山ノ中ニモ真滑石ヲ生セリ

桃花石

唐産之者尤為上品。新渡之者。不好。真物者。其色如桃花故有桃花石之名。此則赤石脂凝結而成石者即是也。

今佐州海嶋及ヒ奥州南部山中ニ多ク此アリ

里俗呼テ油石ト称スル者即此ナリ其色桃花

如ク又大塊ヲ出ス者真ナリ又白色花点有ル者アリ

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』 請求記号 寄別11-5
ガラス使用

赤石脂

石脂類有数種。有五色及雑色之者。其形殆如凝

（又絳滑而如脂而粘舌者……緻密者真……不散者滑石也）

油而微赤色或帶赤色。山人無時而採之。此則真物也。

（又濕水試之其泥者石脂也）

佐渡州ノ内多ク此ヲ出ス里人呼テ石綿ト称ス

相州箱根山中ニ（伊人呼テ）石綿ト称スル者在ル者則是ナリ

（又蛇骨ト云フハ此レト全ク別ナリ）

軟石膏亦白石綿ト称ス

△大院布石俗又呼テ石綿ト称ス是……誤……スベカラス

砥石

青白ニシテ石面ニ菊花枝葉及藩蘺ノ形ヲ為ス其文白色ニシテ玉ノ如シ硯ト作スニ堪タリ

登梅ニ砥石類其種甚多シ大草其名附ス俗ニ呼テナラ砥ト称スル者四種アリ

其外ニ……砥……砥ニ……ノ類

ウチグモリ白砥浅黄砥ノ類……研上砥ハ浅黄ウシキ白ウミキ青……

砥ノ類アリ此又……皆城砥ト称ス又対馬砥アリ是亦……

又山州青砥……

上品ナル者ナリ其外上州ノ南目砥上野砥鬘ソリ砥ノ数種アリ書ニ記シ難シ

赤石脂

石脂類ニ有数種。有五色及襍色之者。其形殆ト凝油ノ如シ微赤色或ハ掌赤色ナリ山人無時而採之。此則真物也。

又絳滑而如脂或帯粘舌 ……著真赤石脂…… 不散者滑石也

又浸水試之其泥者石脂也

佐渡州ノ内多ク此ヲ出ス里人呼テ石綿ト称スル者則是ナリ

相州箱根山中ニ（俚人呼テ）石綿ト称スル者在

又蛇骨ナ云フ……此ノ全ク別ナリ 軟石膏 ……亦白石綿ト称ス……

△大浣布石俗又呼テ石綿ト称ス是ヲ……誤リ……スヘカラス

青白ニメ石面ニ花枝葉及藩籬ノ形ヲ為ス其文白色ニメ玉ノ如シ硯ト作スニ堪タリ

砥石

佐渡嶋新穂村山中砥石ヲ出ス其色青白ニメ刀劔ヲ磨スルニ堪タリ

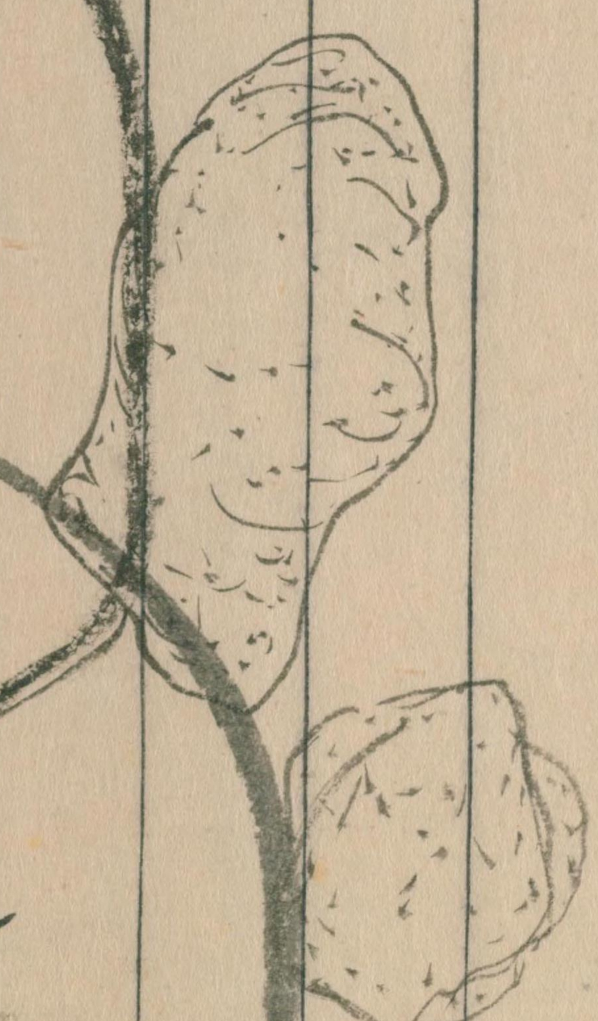
遍石

佐渡嶋新穂村山中砥石ヲ出ス其色青白ニメ刀劔ヲ磨スルニ堪タリ上品トス

碁石

佐度嶋加茂郡真更川村海濱ニ石ノ川ニ生ス其
形圓片ニメ黒色碁石トナスベシ質堅フメ潤沢有リ
紀州那智ノ黒石ノ如シ里人呼デ浄連坊(ジヤウレンボウ)ト称スル
者即是也

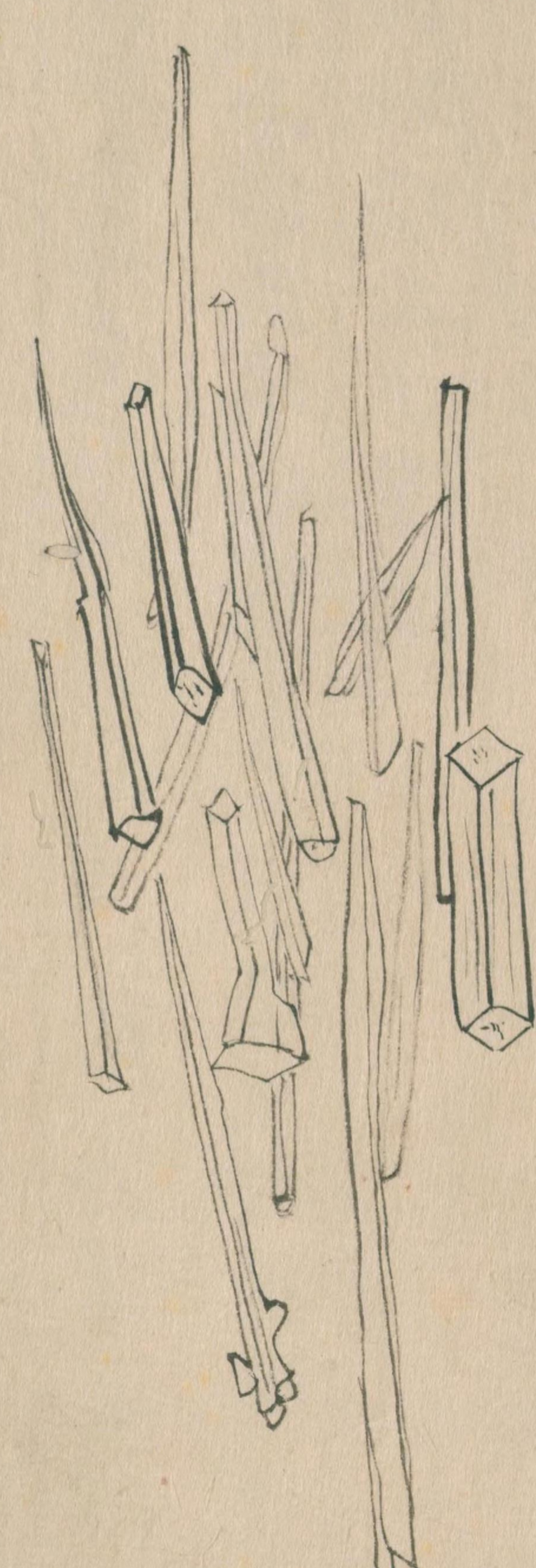
赤玉石
佐度嶋加茂郡赤玉村ノ山中ニ赤石アリ其色丹ク
珊瑚ニ彷タリ或ハ黄白ノ紋ヲ帯ル者アリ国俗琢



玉
口黄玉　日向玉
那珂郡鵜戸権現ニ黄玉アリ罟四方
黄色ニシテ少赤シ
甚重シ

今豊後州ニ出ル者ヲ上品トス肥州ノ産此ニ次ク
（相州本箱根宮ノ下[illegible]ヨリ出ル者下品トス）
他州ノ者亦此ニ次ク又一種鵜屎礬アリ信州ノ
（山中ヨリ此ノ）
國ヨリ出ス其形殆鵜屎ノ如ク染家ノ要トス
俗呼テ土醋(ドス)ト称スル者即是ナリ汁ヲ漉シ採(取テ)
リ煎煉シテ此ヲ作ルモ造法アリ

芒消



唐産之者。尤爲上品。芒消。則朴消。作細芒者。則是也。其法以朴消。帝再熬錬帝露之一宿。作細芒者。即是也。今海邊塩地舊屋之下。多生之。其形細〻作芒。或如砂塩。其味潡鹹。

桜ルニ此ノ者水火ノ二消アリ山生ノ者ヲ火消ト名ツク則今ノ煙消是也濕地ニ生スル者ヲ水消ト名ツク則今ノ苦硝是ナリ其ノ水消潡鹹ニ又火消ハ苦辛十リ武州八王子山中多此ヲ出セリ或ハ樟腦ノ如ク凝結テ透明ナル者。其形凝氷石ヲ欵タリ

膽礬

今播州赤穂海中ノ食塩ヲ出セリ其色白ク味甚佳ナリ尤上品ナリ

行徳武州金沢及ヒ大師河原ノ産又此次ケリ

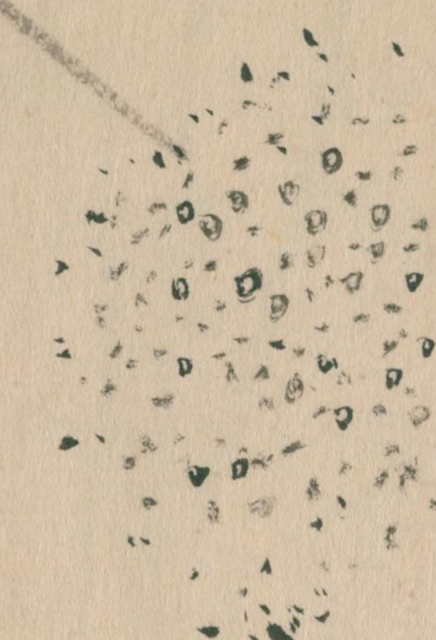
砂金 二種

桜ニ今蝦夷海濱彼保呂石崖ニ多ク又高山ノ巓頂ノ崩落テ海中ニ流入ル其形黍米ノ如ク大者ハ麥粒ノ如シ里人此ヲ拾フ北所々船常ニ寒気強キ故ニ人家モ

ガラス使用

結ナ或ハ欲ニ溺レ貪リ採ル者必黄胖病ヲ發ス故ニ近世此ヲ
畏テ採ル者亦少シ今佐渡嶋西三川村ノ砂金ヲ出ス甚上品トス
多ク石中ニ挾ミ生ス

金剛砂二種



金剛石

按今總州ノ海濱及ヒ房州ノ砂地多出金剛砂其形
如粟粒而黄赤色能磨玉今玉工多用之也
按ルニ金剛砂能ク玉ヲ製ス又一種紅毛國ノ産物ニ義耶
湔ト称スル者アリ此則本草ニ述フル所ノ金剛石ナルベシ此ノ者

廿一

ス又銀牙石有リ其形状金牙石ト異ナル
ナシ但銀色ヲ發スルヲ別トスルノミ

蛇含石

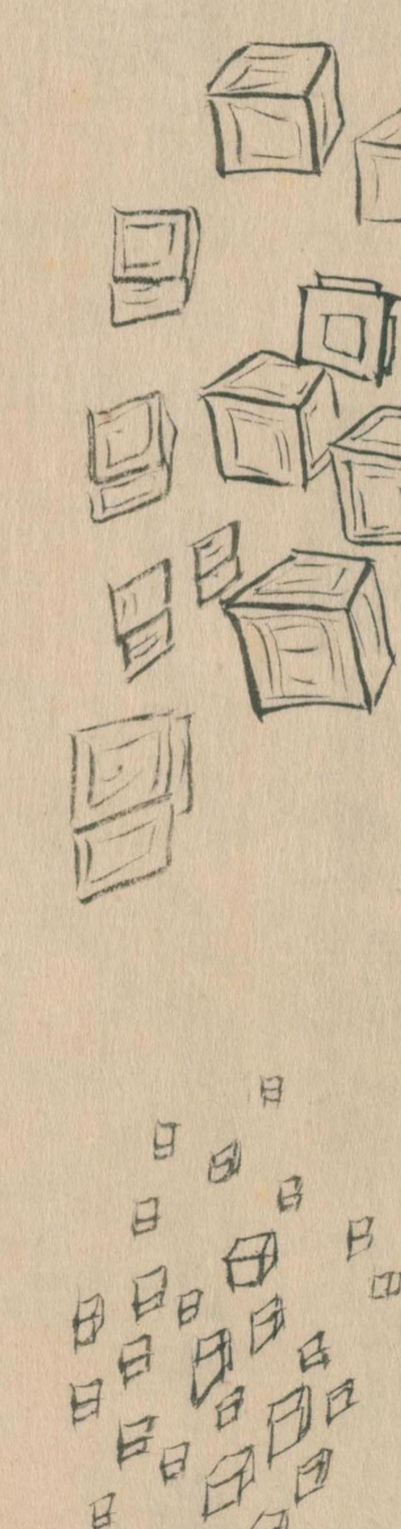
唐産者尤爲上品今奥州津輕武羅(ホロツケ)附山中出蛇含
石其形(狀)大小不一其色黄赤黒體質甚堅實而
爲鉄色者眞也
今按ルニ圓塊ヲ為ス者ヲ蛇含石トス其(大塊)方解ヲ為ス者

彈丸ノ如ク色黄ナル者ヲ以テ蛇黄トス或ハ以テ

阿部照任曰此者羽州阿仁奥州槇山ヨリ出ス里人千度ヰト云能ク信ヲ治スト云フ

ヲ蛇含石トス 蛇入蟄ノ時ニ含ムノ説信スルニ足ラス

自然銅 二種



唐産者ヲ爲上品今相州鎌倉山中出眞自然銅

又信州山中出一種自然銅其形爲方解者佳也

其色赤黒而皆甚堅實也

又加賀州一種ノ自然銅ヲ出ス多クハ白亞中ヨリ

得ル者其形細小而方解ヲ爲ス殆切リ作スガ如シ

又播磨水戸

又稚鎮句ト称スル者アリ今近多ク銭ニ作リ又燈蓋ト爲ス者是ナリ剛鐵ノ下品ナリ

又一種白味ト称スル者アリ豫州ノ産ヲ上トス豊州ノ者此ニ次ケリ其形白ヌ能ク砕ケ易シ又…

他金ニ充ツ其用甚廣シ

土州産ノ造製スル所也其余他州ノ産各ト異リ當ニ此ニ

及バス火燧要石等ニ用ル鉄アリ俗呼テ伊津和剛鉄

ト称スル者則是也又剛鉄ノ上品トス鑪ニ作テ最モ

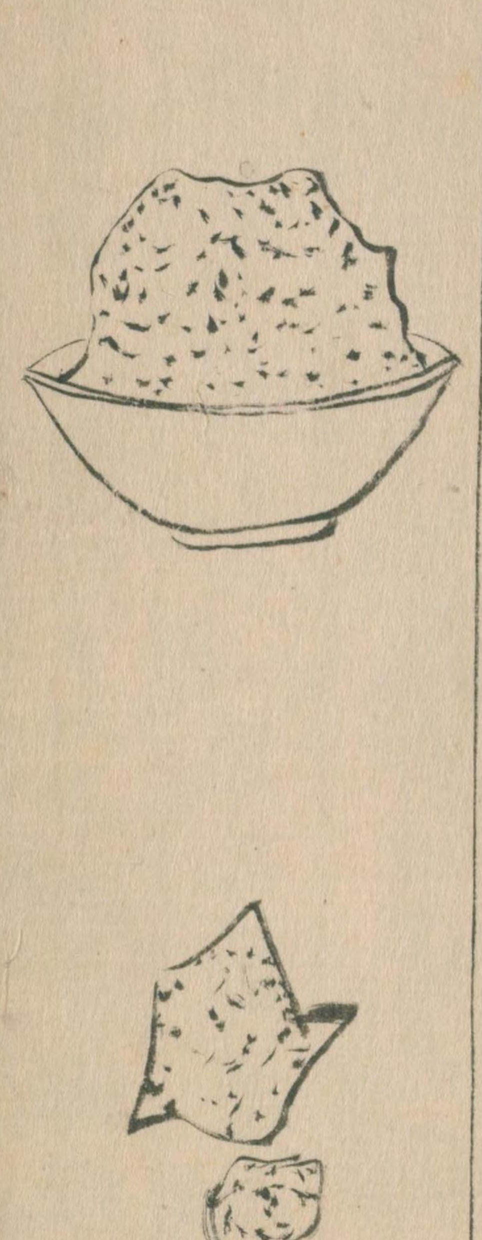
佳也今雲州石州越州奥州仙臺南部ノ所々ニ鉄

ヲ出ス播州ノ産ニ及バス又豆州ニ一種ノ剛鉄ヲ

ヲ出ス甚堅又脆シ鍋釜ヲ作ル者則是也俗呼テ

鍬剛鉄ト称スル者則是也

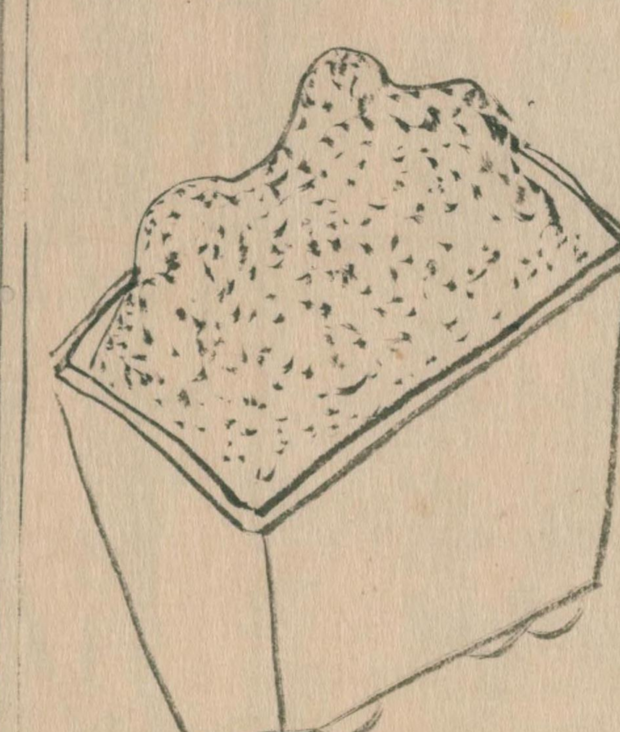
地壚



則本艸ニ述フル所ノ花明塩即是也

今奥州會津大鹽村ノ山中ニ出ヅ池塩ヲ出ス又
山巓頂ニ鹽池アリ湖水ノ如シ月ニ之ヲ盈虚シ潮汐
ノ如ク裡人此ヲ燒テ鹽ヲ作ル其色白也山人
皆此ヲ食フ專ラ目疾ヲ治ス又温泉アリ塩ヲ
其氣甚強シ此ヲ浴スル婦人ニ益アリ豆州熱海ノ温泉
ニ類ス是ト相似タリ又信州淺間山ノ下ニ石塩ヲ出ス奥州ノ産也

食鹽



10

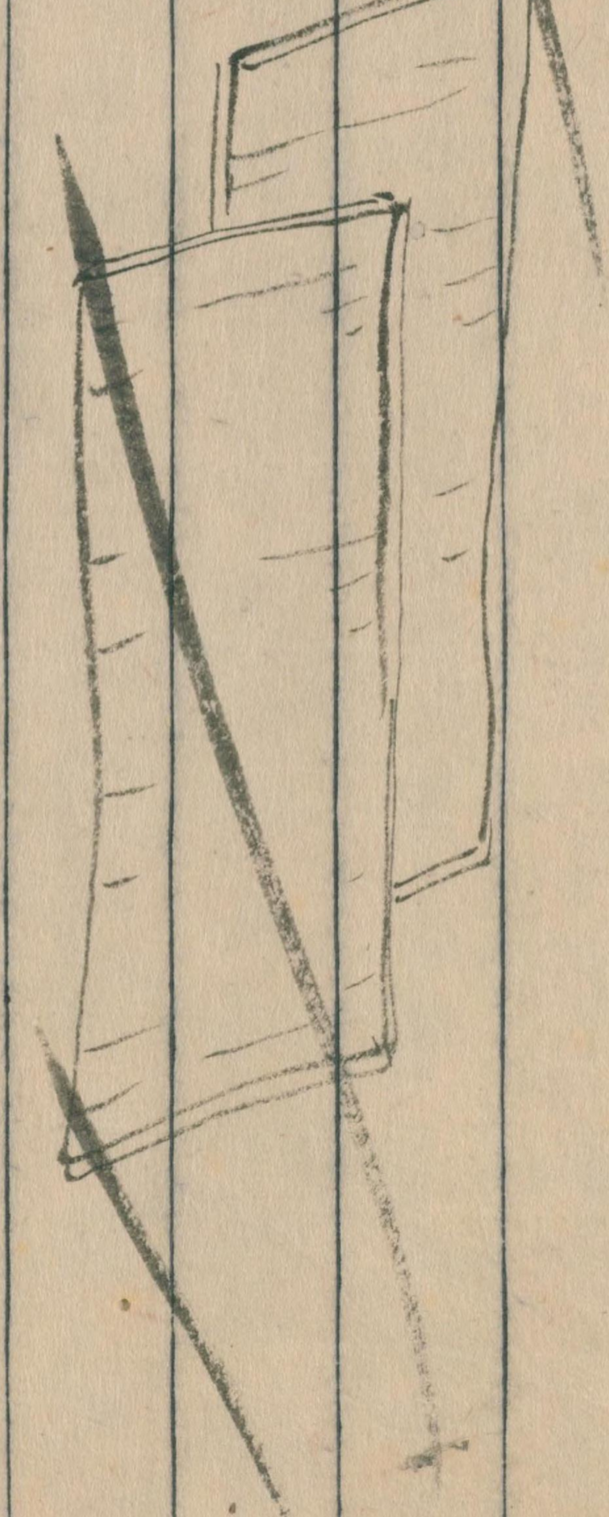
金

今佐度嶋雜太郡相川及西三川村山中多出金甚爲
上品也薩州駿州之者次之入於官庫者其形如圖矣
登桜ルニ今甲州豊州越州但州武州豆州彈州常
州奥州仙臺及ヒ福嶋會津羽州米沢秋田阿仁翁等
ノ所々皆黄金出セリ佐州ノ者ノ良ナルニ及バス又砂金ヲ出ス
別ニ圖ヲ出セリ

長者五六尺幅一寸許

ロムト鉛
テン錫
スヒヨウトル[illegible]
クイキセルフル水銀
西州吉野藏白目
州竹田領尾平山中
白銀ヲ産ス尤上品
尾平山、豊後
一州ノ堺ニ在リ
○セルフル
○コウプル

銀

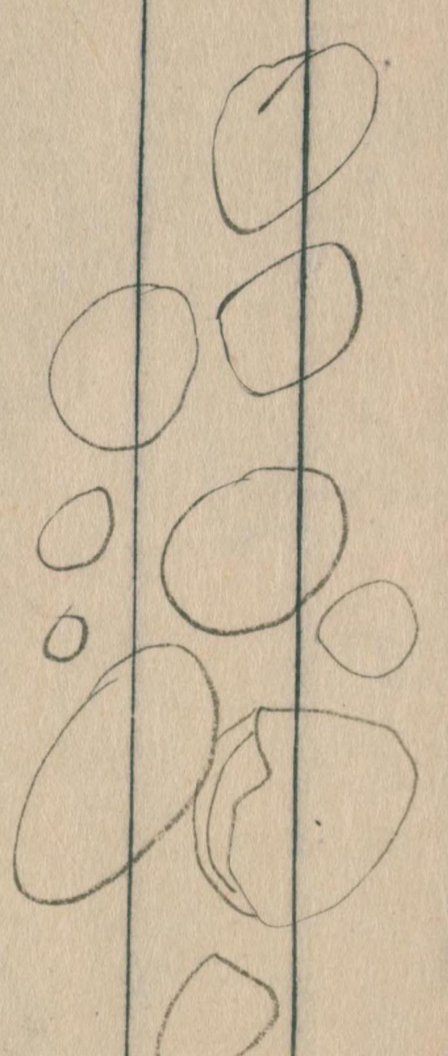


余羽州秋田郡及佐渡嶋雜太郡薩州銀山多出白銀
尤為上品也諸山鉛錫出銀皆次此産矣
登權ニ薩州ノ産甚上品ナリ其色白メ堅ク質濃ナリ
光明水銀如攝州ノ者ヲ産ス又次之

銅

今倭出稀ニ此アリ奥州津輕ノ海濱ニ此ヲ出
セリ其形大小齊カラズ白色玲瓏トメ殆其形水
晶ノ如シ能ク玉ヲ削ルベシ又黒色ナル者アリ

水中白石



今奥州津輕海邊多出之俗呼称今別石者則
是也又寧山内多有之所謂此石可為玩物矣
又處〻盆盞盃中多ク此ノ石ヲ以餝ル堪為玩物矣

孔公孼

今佐渡嶋山中石屈内多生孔公孼其形似鍾乳石
稍大。長者五六寸許（九才 八七八寸ヨリ尺余ニ至ル）
登按ルニ今武州八王子日野原ノ山中ニ巌穴有リ
内ニ此ノ石ヲ生ス佐渡嶋ノ産ト異ナルコトナシ

稍有 風化水化二種
風化者取鍛了石置
水中自解此為有力
水化者以水沃之熱
蒸而解其力差劣
入薬惟用水化不
灰石者良石灰燒
青石為之今出近江
州者為真入薬可
用之摂津州来者皆
是蛤灰也俗通名
石灰不可因名迷
實也

武州八王子山中。多出之。尤為上品。他所出之者。甚不
好矣
按ルニ常州佐野ニ石灰ヲ出ス此即真物ニ非ス或ハ蜆
殻ヲ煆テ此ヲ作ル又武州深川猿江等ノ石灰此亦真物
ニ非ス諸介ノ売ヲ取リ此ヲ煆テ此ヲ作ル

（蛤蜊蚌蜆諸売ヲ煆テ此ヲ作ル者セス八有ルベカラス）

（里人山傍置作窯燒之青石一層柴一層 ……之其石自解散而為灰）

瑚珀

稲氏云琥珀亦出薩摩州即今人誤名薫陸者

唐産者尤爲上品以黄者爲金珀以白者爲銀珀以黒者爲紫珀此皆依其質色而得其名者也

今按ルニ奥州岩城郡ノ山中ニ琥珀山有リ石間脈理在テ相續ク長十數十丈里人或ハ大石ヲ掘リ穿チ此ヲ取ル此即山中自然ノ化物ニメ千歳松脂ノ類ニ非ス又琥珀ヲ出スノ山草木ヲ生セス

又照井奥州南部久慈村ニ琥珀山在リ黒色ナル者尤多シ里人此ヲ採テ薫陸ト称ス若シ其名ヲ誤リシ薫陸ハ即乳香ノ別名ナリ或黄赤ナル者以テ蠟珀トス又馬腦ニ似タル者アリ

佐渡鴫金山中ヨリ出其色白ヲメ黒色有リ内ニ銀星相連ル里人呼テ手喰銀石ト称スル者即是ナリ

鏃石

佐渡嶋廣原ニテ毎歳二月九日ヲ受之其形箭鏃ノ如シ或ハ赤ク或ハ白ク或ハ青シ其石堅キコト火燧石ノ如シ里人呼テ矢ノ根石ト称スル者即此ナリ

花紋石二種

佐度嶋開村ノ山中ニ花紋石アリ里人呼テ木葉石ト称スル者即是ナリ其形花紋ヲ為ス或ハ枝葉ノ状アリ採リ得テ硯トナスベシ又羽州阿仁扇田山中一種ノ花紋石ヲ出セリ皆葉葦ノ状ヲ見ス殆ド彫リ作スカ如シ又相州箱根山道ヶ嶋ノ山中ニ一種ノ花紋石ヲ出ス是亦草花枝葉ノ形ヲ見ス其色白ク柔軟ナリ硯ト為スニ堪エズ又武州多摩郡日野原山中一種ノ花紋石ヲ出ス其色

同州上賀茂及ヒ富神社ニ出ス者ヨリ上品ナリ又肥州龍造寺ノ山中ヨリ出ス

豊州二科郷ノ海邊姜石ヲ出セリ其形白色ニメ殆生姜ノ形ヲ為ス

烏帽子石

江州見上山ノ内ニ烏帽子石ヲ生ス其形大小ニ拘ハラス烏帽子ノ形ヲ為ス里人呼テ烏帽子石称ス採テ玩物トナスベシ

白亞土

越州高田茶亭ノ内ニ白土多シ又山州日野岡ニ白亜土ヲ出ス

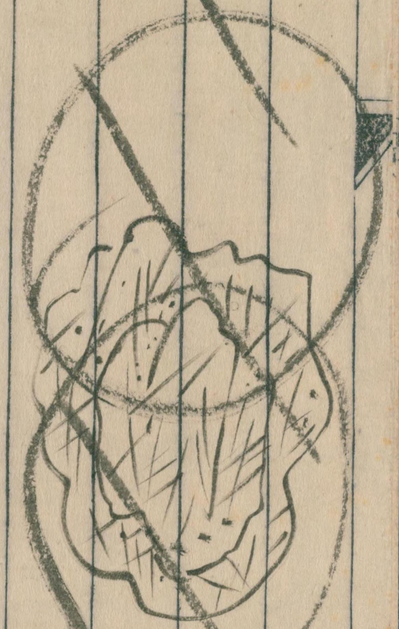
壹州瀬戸産ヲ上トスベシ

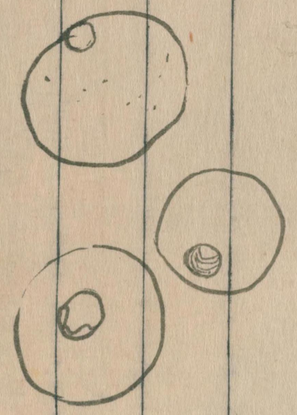
国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号　寄別11-5

ガラス使用

日州高千穂
薩州宮崎
ノ産

水精



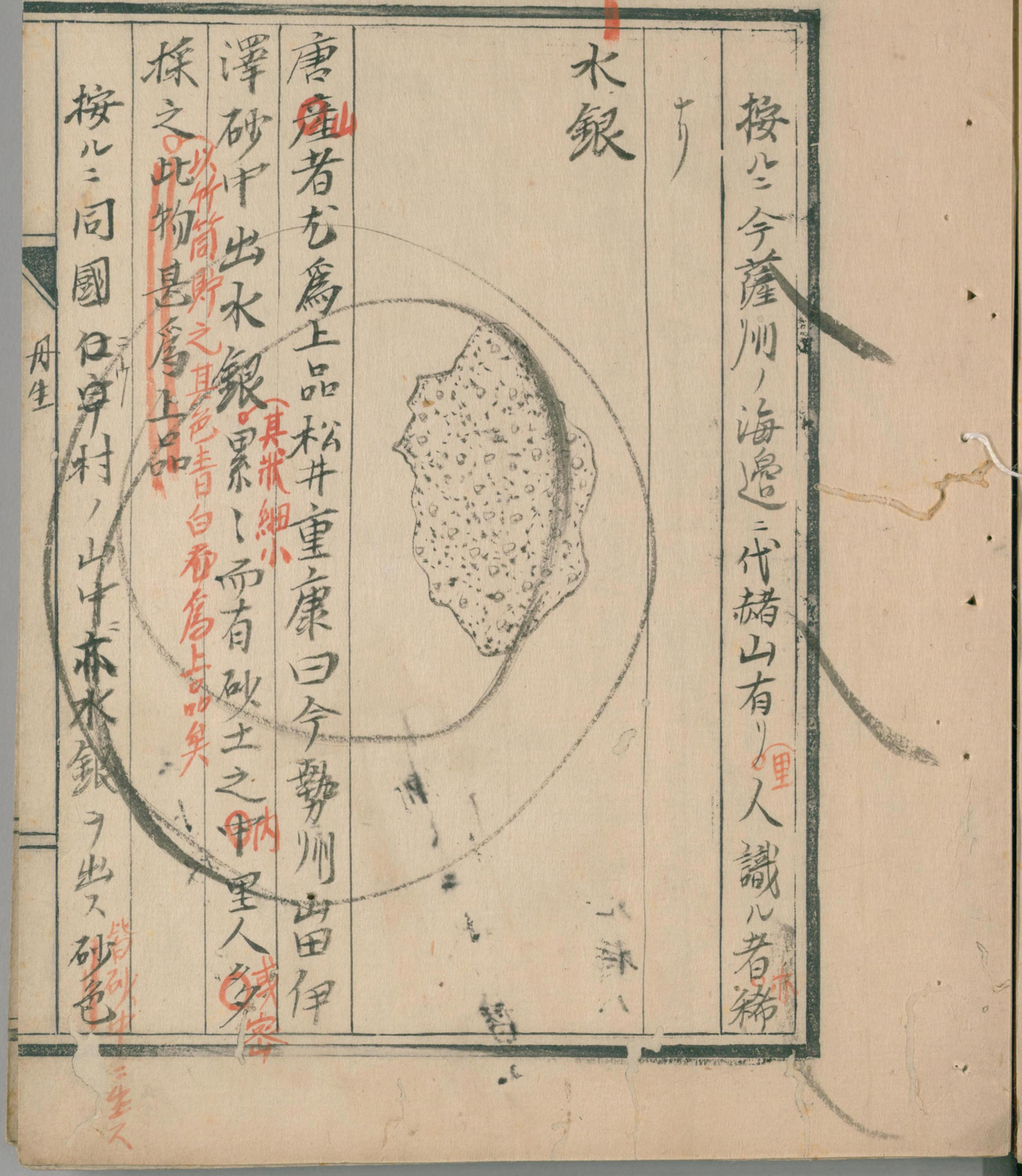


日州南部山中ヨリ水晶ノ出ル其形圓大ニメ透明白色六稜ヲ不全為者真ナリ石英ノ條ト

参考スベシ

蟲窠

15



水銀

薩州ノ海島ニ伊豆赭山有リ里人識ル者稀

唐産者尤為上品松井重康曰今勢州山田伊澤砂中出水銀累ニ而有砂土之中里人多探之此物甚為上品矣

桜ノ二同國白井村ノ山中ニ赤水銀ヲ出ス砂色

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号 寄別11-5

ガラス使用

此者当今日本郡部村ニ鉄山アリ

黄赤ニシテ内ニ水銀ヲ含ムベシ里人皆此ヲ知ル

生鐵 二種

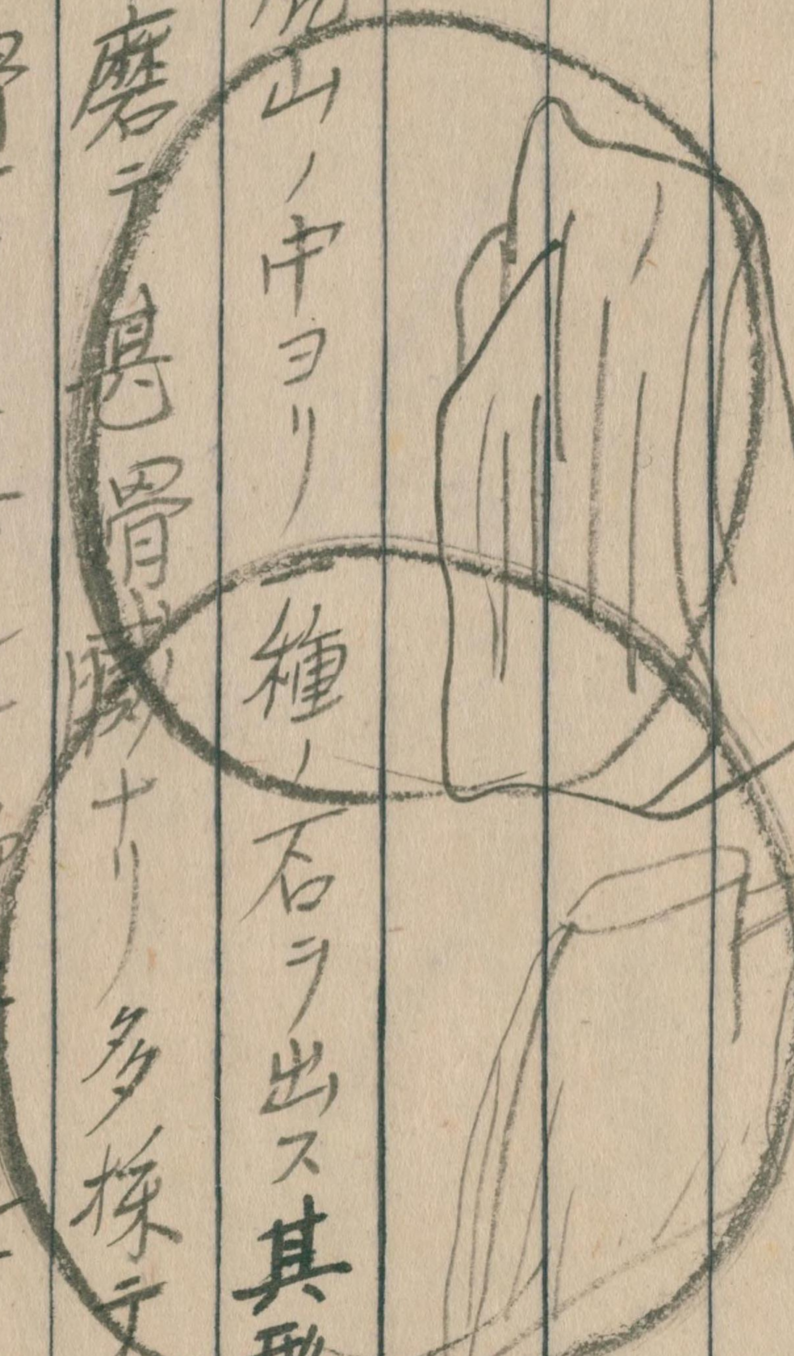
今按ルニ播州宍粟郡ノ西谷三方谷及ヒ山崎ノ處ニ
生鐵ヲ出ス或ハ剛或ハ柔両品共ニ出ツ最上品也
刀劔ニ用テ最良也又鐵ニ作ルベシ俗呼テ千艸鐵ト云

其色甚青色滑膩地ヲ堀ルコト数尺ニシテ此ヲ得ル
里人採テ黄土相交ヘ煉テ瓦ニ摶テ作ル其質甚堅實也

須久茂

江州加茂郡老曾村ノ山中ヨリ須久茂ヲ出セリ
土石ノ間ヲ堀リテ此ヲ得ルナリ其形黒色ニシテ紫苔
ノ如シ里人採テ火ニ然シ食ヲカシグ甚珍物ナリ蓋シ
此ノ者石炭ノ気ヲ得テ生スルカ臭氣亦相似タリ

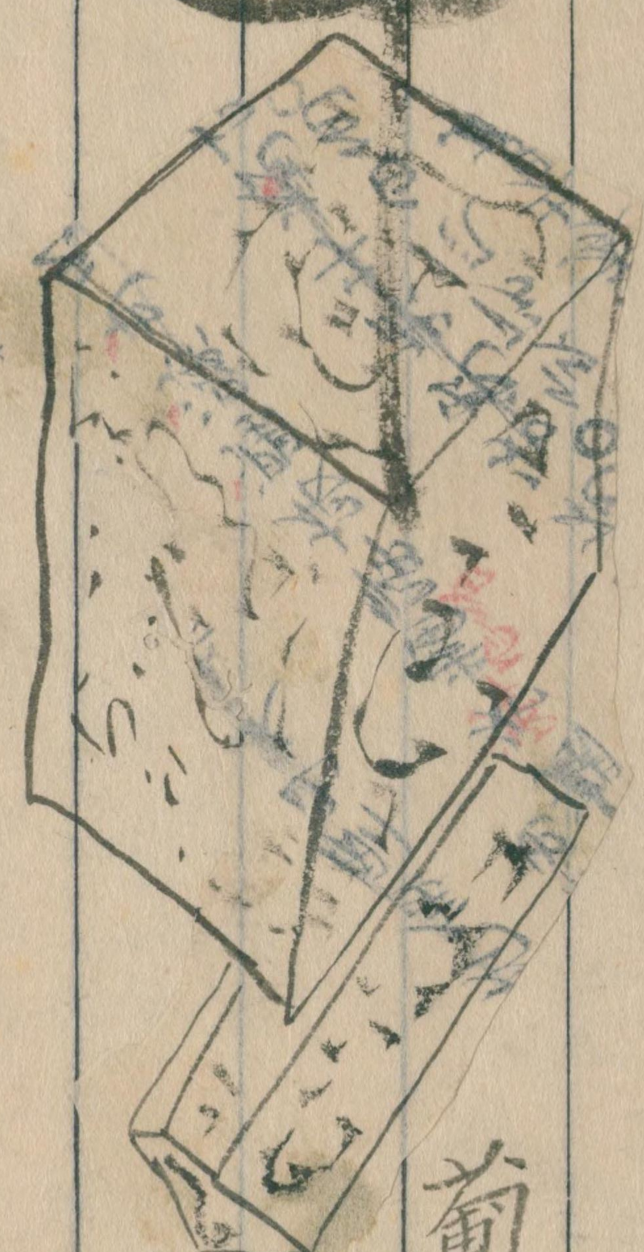
焼山石



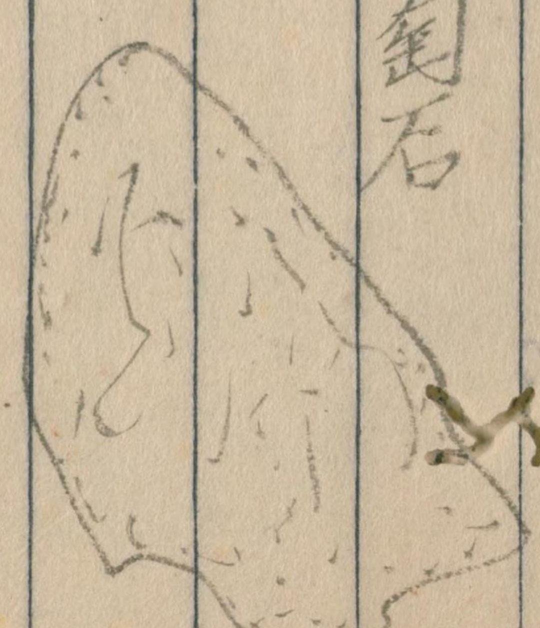
肥州焼山ノ中ヨリ一種ノ石ヲ出ス其形白色ニメ堅シ此ヲ磨ニ甚滑膩ナリ多採テ印材ト為ス是即滑石ノ真ナル者歟此ニ乃シテ諸問ヲ候へし

葁石

寶川



葡萄石



国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』 請求記号 寄別11-5

ガラス使用

採川石ヲ出ス班文愛スベシ硯トナスニ堪ヘタリ
又一種
◎上州沼田一種ノ温石ヲ出セリ其質ハ寶川ニ似テ柔軟ナリ紫青田石ノ類ナリ今多ク採テ石印ト作ス

◎備前ニテ蝋石ト称スル者ハ備前ノ三石村ノ山中ヨリ此ヲ出スナリ

駿州一種ノ石ヲ産ス里人呼テ葡萄石ト称ス其色青白ニシテ黒点アリ又黒点無キ者アリ潤色透明ニシテ殆ド葡萄ノ如シ故ニ名ツク亦一種黒班多キ者アリ里人呼テ寶川ト称ス石中ニ細鐵ヲ含ム

此ノ二石皆印材ト為スベシ一名駿河石◎

櫻川石 二種

駿州一種ノ石ヲ産ス里人呼テ櫻川石ト称スル者アリ

◎和州吉野郡十津郷内紫園村ノ山中ニ真紺青ヲ出ス

唐産者ヲ為上ト○此今長州山中及奥州會津領山中ニ出ス之皆為眞物

今越州蒲原郡九十沢山ノ中ヨリ眞ノ紺青ヲ出ス◎巌窟石中ニ得ル者有リ又同處石緑ヲ出ス

金星石

前條ニ見ヘタリ

澁

代赭石

今武州多摩郡三内村出一種金星石其色青黒而石裏有金點又有銀星石碎之有銀點者是也里人多採之作茶臼者其細理堅實故也

唐産者尤爲上品今豆州二斜山中出一種代赭石其色赤黒而爲浮滬狀者真也又有土朱蓋代赭之類也里人堀採作石筆者即是非真代赭也

花蓋石

其色銀色大爲入里人呼称切リメ石ト称スル者即是也

本編ニ所謂其狀麻柔ノ如シト云ル者則是ナリ

唐産者尤爲上品今奥州遠野村山中出真花蓋石其形似栗餅或黄或白又有備五色者里人呼称栗米石者即是也

今肥州阿曽郡山中ニ真花蓋石ヲ出ス其色

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号　寄別11-5

ガラス使用

○花蕋石ニ似テ
黄點ナシ近世呼
テ朝鮮馬脳ト称

云ル者則是ナリ
則花乳石ノ白色
ナルモノナリ故ニ
此ニ附スノミ

白ク黄點有リ質甚堅シ又白馬脳ト称スル者アリ其形

又種

○空青

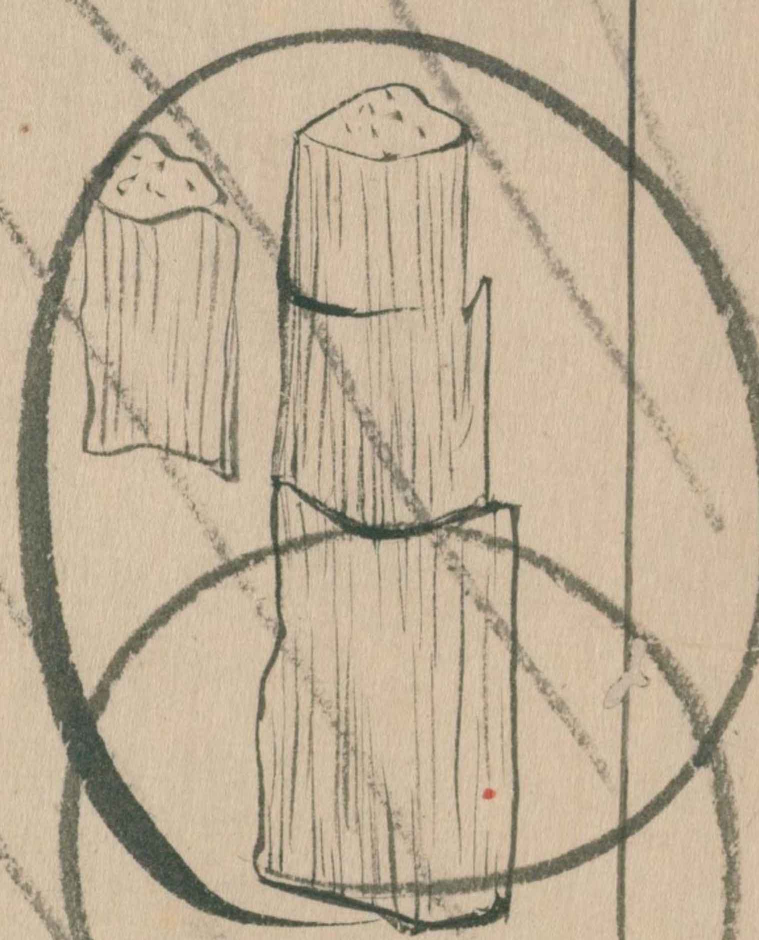
唐産者尤爲上品今丹州多ク野山ニ出真空青其
形如楊梅實而爲碧色者真也石中有空完盛水
者甚上品也

緑青

石青

日本諸州薬譜　石部

石膏一種



唐産之者尤爲上品。其色甚白而如綿。有縦文瑩光。
又有似束針者此則爲真物。一種其色白而有帶微
黒者。但體質堅而不好。不堪用也。
今石州ニ一種ノ石膏ヲ出ス其形柔白ニシテ脆シ

菓ニ入ル、ニ堪ヘタリ世人識ル者稀ナリ

滑石

唐産之者。尤爲上品。滑石有二種。有其形甚白而滑者。此則爲上品。一種有赤白相交者。此則爲下品。滑石類甚多矣。有紫白青赤黒之數品。又有雜色者。不可不辨也。

今相州箱根山ノ内一種ノ滑石ヲ出ス白色滑膩ニノ良ナリ里俗呼テ大地獄小地獄ト称スル處尤

21

稲氏曰今俗人往々和銀朱以飾其色入藥須先以水漂去銀朱然後細研水飛用

蠻語 シナードブロムプナテーフン。

唐産之者尤爲上品。今豊後州下毛郡草木村山中。多出之。最爲上品。或生石间金石上者。其形有三稜。薬肆呼称石屎砂者則是也。又有称鏡面午者。其形片似鏡面之形。故名之矣。

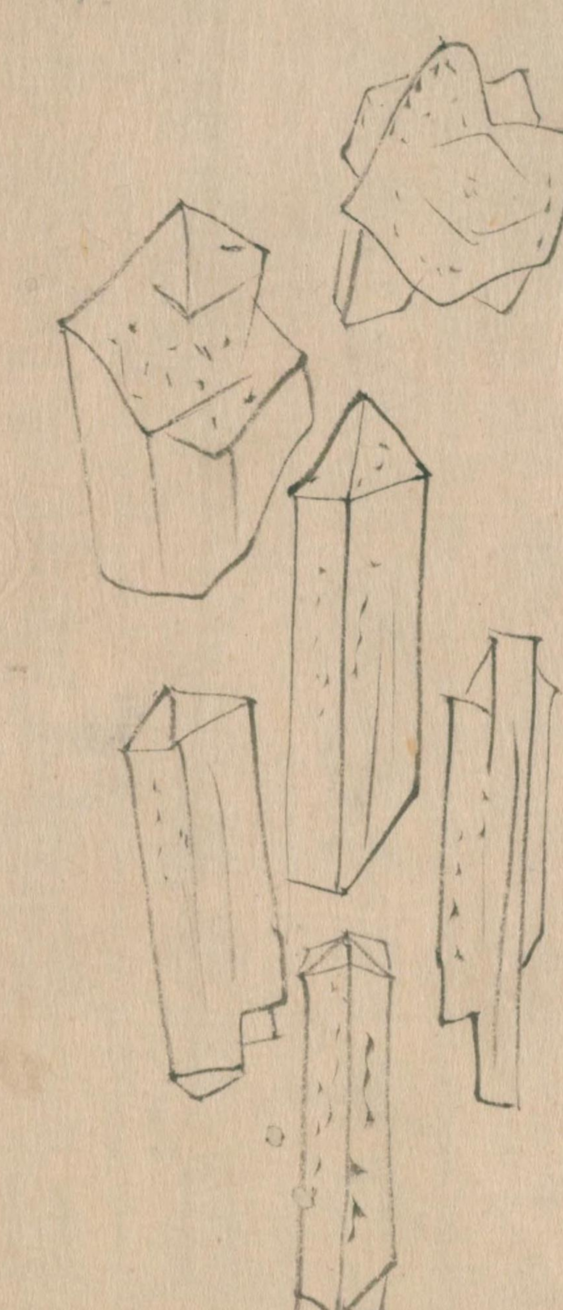
阿部郡ニ曰今眞州仙臺ノ亨朴久保ト云所ヨリ眞砂ヲ出ス又勝田村ノ山中ヨリ眞砂ヲ出ス又南部ノ約束ノ山中ヨリ眞砂ヲ出ス此皆金山巖窟内ヨリ比ヲ採リ得タリ比皆真物トス

石炭

今豊肥後之諸州多出之。其形如炭而有光澤。山巖石間皆有之。里人掘採而爲薪者即是也

按ルニ肥州蝶子海濱ニ二種ノ石炭ヲ出ス里人呼テ岩乾漆ト称スル者即是ナリ火ヲ以テ此ヲ然スハ即硫黄ノ氣ヲ爲ス乾漆ニ代ヘ用フベカラス

寒水石 一名凝水石



鮓答

雜石類

銅箔石
赤玉石
火燧石
幾羅石 二種
焼山石
赤间石

花紋石
紫石
葡萄石 二種
桂子石 三種
烏帽子石
金山石 三十八種

碁石
菊銘石 二種
櫻川石 三種
金絲石
岩窠玉 不田玉附
銀山石 二十二種

竹石 和
無名異
殷蘗
石腦油
須久茂 和
地漿
代赭石
禹餘糧
綠青
膽礬

石脂 五色
吾鍾乳
土殷蘗
石炭
石灰
陽起石
赤砂 磁
石中黃子
曾青
礬石

桃花石
孔公蘗
石腦
琥珀
滑石
慈石
赤石
空青
石青
砒石

水類 六種

醴泉

温湯

井泉水

[illegible]

千雨水 和

絲瓜水

土類 [illegible]種

白堊

赤土

黄土

烏古瓦

青泥 和

[illegible]類 十五種

赤銅

銅青

金星石

銀星石

金石

礞石

花乳石

金牙石

金剛石

石砮

石刀

越砥石

薑石

水中白石

石蟹

石蝦

石魚

石蛤

霹靂碪

食塩

青鹽

池鹽

凝水石

玄精石

芒消

焰消

石硫黄

石硫青

土硫黄

礬石

綠礬

試劍石

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号 寄別11-5
ガラス使用

石類

玉
馬腦
硝子
紫石英
雄黄
滑石

錫
水銀
白琅玕 和
寶石
白石英
丹砂
石膏
不灰木

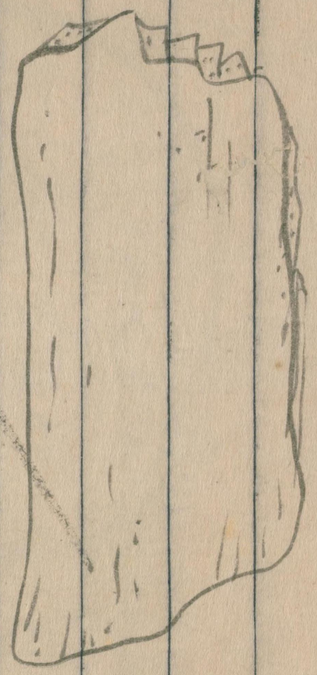
黄丹
鐵 三種
軽粉

柔珊瑚 和
水精
雲母
銀朱
方解石
松石

高里君ヨリ出其色黒シ硯トナス高浜石ハ石州ヨリ出ツ是亦其色黒シ皆硯ニ作ル 25

蝦夷ノ地一種ノ玉ヲ産ス其形圓ニメ青白色大小一十ラズ一名カラフト里言ニ云リ海中ノ虫蚫ノ如キ玉ヲ作ルト云然ルヤ否ヤ

赤間石

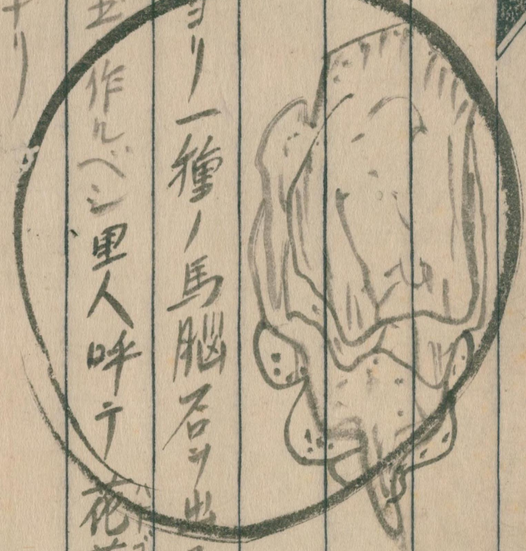


長州赤間ノ關ヨリ一種ノ石ヲ産ス其色ニメ堅實十川ノ黒人採テ硯ニ作ル甚上品ナリ今多自然ノ石ヲ以テ硯ニ作ル人多シ

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号 寄別11-5

ガラス使用

馬腦石

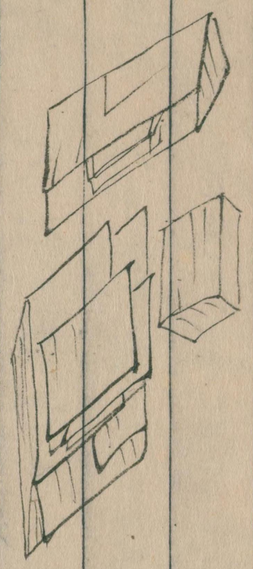


加州山中ヨリ一種ノ馬腦石ヲ出ス其色赤白相交ル磨テ玉作ルベシ里人呼テ花蔕石ト稱スル者即是ナリ

金砂子

紅毛国ヨリ來ルト云ヘリ和名キルスナゴト云其色ハ甚黄色ニメ金砂ヲ以テ作ル方如シ今多ク玉ニ作ル今

方解石



甚白品ニメ錫粉ト爲スニ堪タリ

磨山者尤爲上品今佐渡嶋中山多出方解石俗呼稱附附石者即是也

登梭ルニ此ノ石形狀相似タル者多シ此ヲ梯テ方解スル者眞ナリ

雑石類

金石雑類二十八種 佐渡嶋ノ土人方言ヲ以テ左ニ記ス 此ノ石皆金ヲ含ム所ノ石ナリ

ギン通リ ヤシヤ子バ カラ嶋 狐 キン通リ 白二廿

白二廿 川砂 カスゲ 幅カスゲ ヨゴレ 金皮

二廿 ホソ物 スレ 石クヒ メギシ 黒

ギンヤ ズ、玉 虎ノ子 ヤキバ 青石 カミケ

ハリ金引 ハイノコ 虫クソギン 碗ホソ物

ドタンヤシヤ 金皮子バ キン通リ筋物 ロッホソ

白イ石筋物 ニベーツキ ヒツハリ カミケ子バ シリキレトタン

銀石雑類五十四種 佐渡嶋土人方言ヲ以テ左ニ記ス 此ノ石皆銀ヲ含ム所ノ石ナリ

十二

黄土

相州箱根山小地獄ノ内一種ノ黄土ヲ出ス其形色殆ド膠黄ノ如リ質脆ニシテ粗澤ナシ又石中黄ノ形ニ似タリ里人様ニ以テ画絵トナス其色極テ黄ナリ

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号　寄別11-5

ガラス使用

青埿

勢州山田隠岡常明寺門前ヨリ青埿ヲ堀リ出ス其色青色ニシテ滑膩ナリ地ヲ堀ルコト数尺ニシテ此埿ヲ得ルナリ里人採テ黄土ニ相交ヘ錬テ瓦磚ヲ作ル其質甚堅シ又鳥獣ヲ作テ此ヲ焼ク八其色甚雅ナル青色ナリ

按ルニ此ノ石全蒙石ノ類ナルベシ疑ラクハ本草ノ金石ト云者ナラニカ

28

青蒙石

羽州最上川ヨリ青蒙石ヲ出セリ其形色唐山ノ物ト異ナルコトナシ

赤土

薩州備前ノ二州多ク赤土ヲ出ス今多ク器ニ作ル

国立国会図書館 タイトル『日本諸州薬譜』 請求記号 寄別11-5
ガラス使用

肥後国下益城郡瀬戸山
画粉ト云

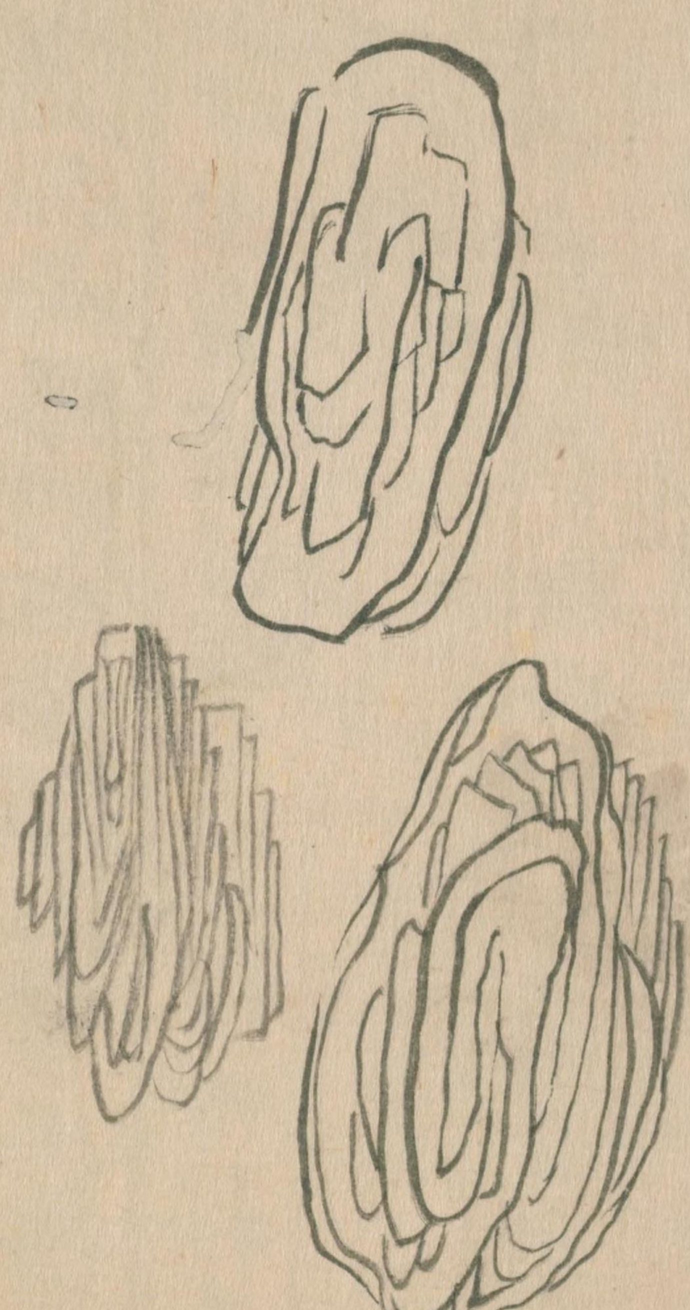
温泉

相州箱根處々温泉アリ或ハ塩気ヲ伏シ礬石ノ
気ヲ伏シ硫黄ノ気ヲ伏シ涌ルヽ之又土硫黄ノ気ヲ
發スルアリ各ノ症ニ應シテ病ヲ治ス豆州熱海ノ泉ハ
塩気ニ因テ涌ル野州塩原ノ泉ハ礬塩相交ル
上州草津ノ泉ハ膽礬ト石硫黄ノ気ニ因テ成ル故ニ毒気

ヨリ多ク石石英ヲ出ル

今信州小室道傍多ク浮石ヲ出ス又軽井沢山中
浮石ヲ出ス里人呼テ軽井石ト云海中浮漚ノ化スル者
ニ非ス又眞州鹿角郡華輪村ニ古城アリ其山盡
ク浮石ニシテ他物ナシ或ハ浮流シテ海中ニ入ル故ニ人取
探テ海浮石ト為ス者甚誤ナリ

雲母



唐産者尤爲上品今肥州阿曽郡山中出紫雲母又三州喜羅村山中出白雲母故今茶肆呼称喜羅し者蓋因於此謂歟

阿部照任曰今羽州秋田郡阿人扇子田ノ山中ニ多ク紫雲母ヲ出セリ又野州日光山ノ外山ヨリ多ク白雲母ヲ出セリ即採テ宮進獻スル由侍ル

不灰木

十三

慈石

又右ノ如モ

今武州八王子山中不灰木ヲ出セリ其形石ノ如シ又樹ノ如シ阿部照任曰奥州竪石山内ニ多ク不灰木ヲ出セリ其質灰ノ如シ

唐産者尤爲上品今奥州南部森野(モリノ)下山中

能登ニ赤箱山ノ近邊ニ磁石出ルナリ

出真磁石其色赤黒而有潤沢殆與唐産者無異也

松井重康曰今甲州金峯山ノ中ヨリ真磁石ヲ出セリ是亦甚上品ナリ又玄石ヲモ出ス

金牙石

阿部照任曰常州田桑倉領竹下村山中ヨリ金牙石ヲ出ス其形礬石ニ似テ金色ヲ帯

十四

十四

日本諸州薬譜 巻之

日本諸州薬譜 金類

黄金

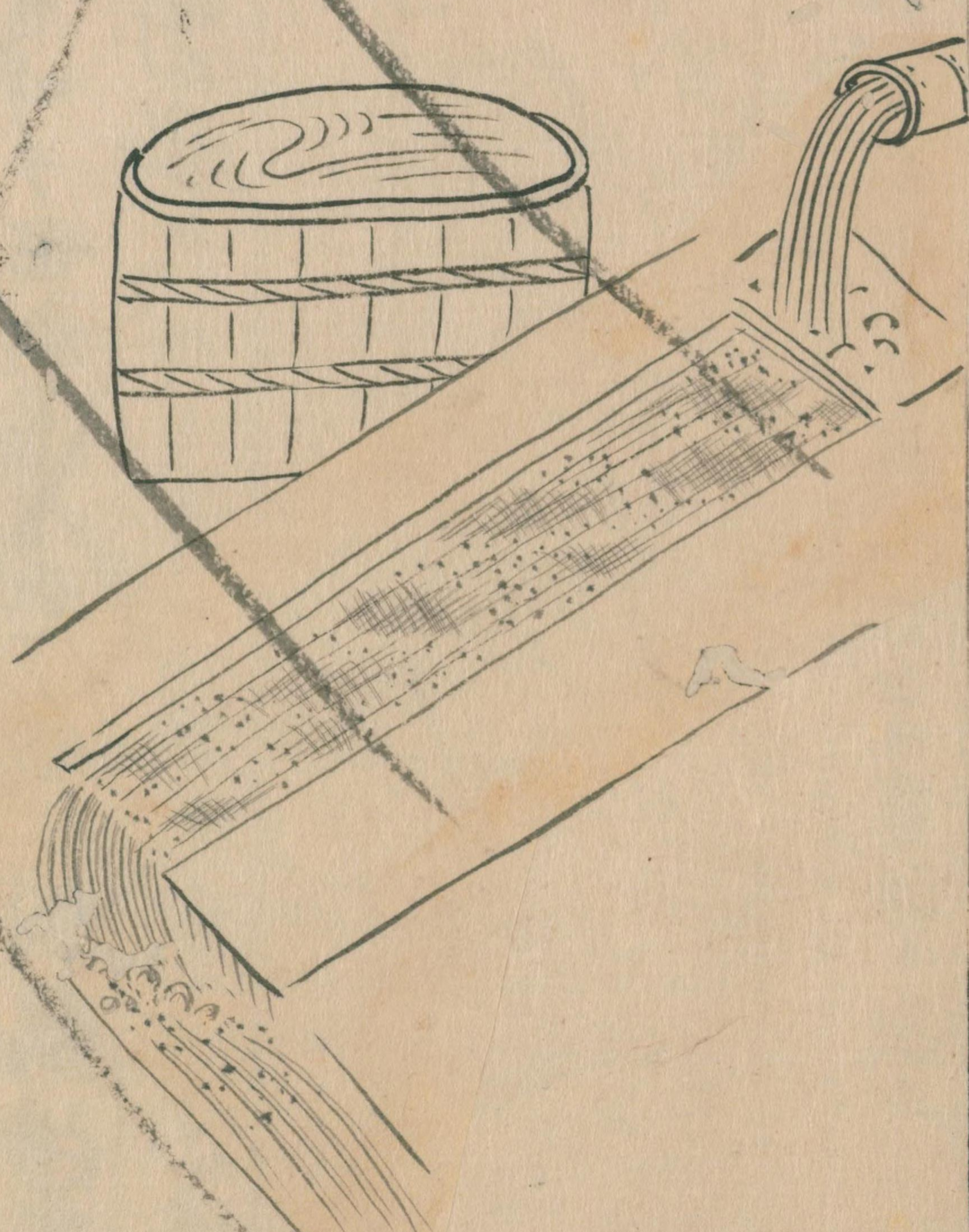
猗氏云方中金箔今世之人不識其為何等大惟依據幾片幾枚之數用之非親視唐箔何以有所准則哉唐箔據今曲尺度之其廣四寸四分㧑四寸而弱朝鮮醫鄭斗俊言一片者百箔一戔重也據此則一片重一釐也十片纔得重一分又按天工開物云凡金箔每金七釐造方寸金一千片

……多出生金……者其形如……皆出生金

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』 請求記号 寄別11-5
ガラス使用

金羽州秋田郡米沢阿作房奥州會津郡仙臺福嶋
南部處々皆出黄金煅煉之法甚有法矣若水曰
方中金箔今世之人不識其爲何等大惟依據幾
片幾枚之數用之非親覩唐箔何以有所準則哉
唐箔據今曲尺度之其廣四寸四分狹四寸而翦朝
鮮醫鄭斗俊言十片者百箔一戔重也據此則
一片重一釐也十片總得重一分又按天工開物云
凡金箔每金七釐造方寸金一千片

千両水

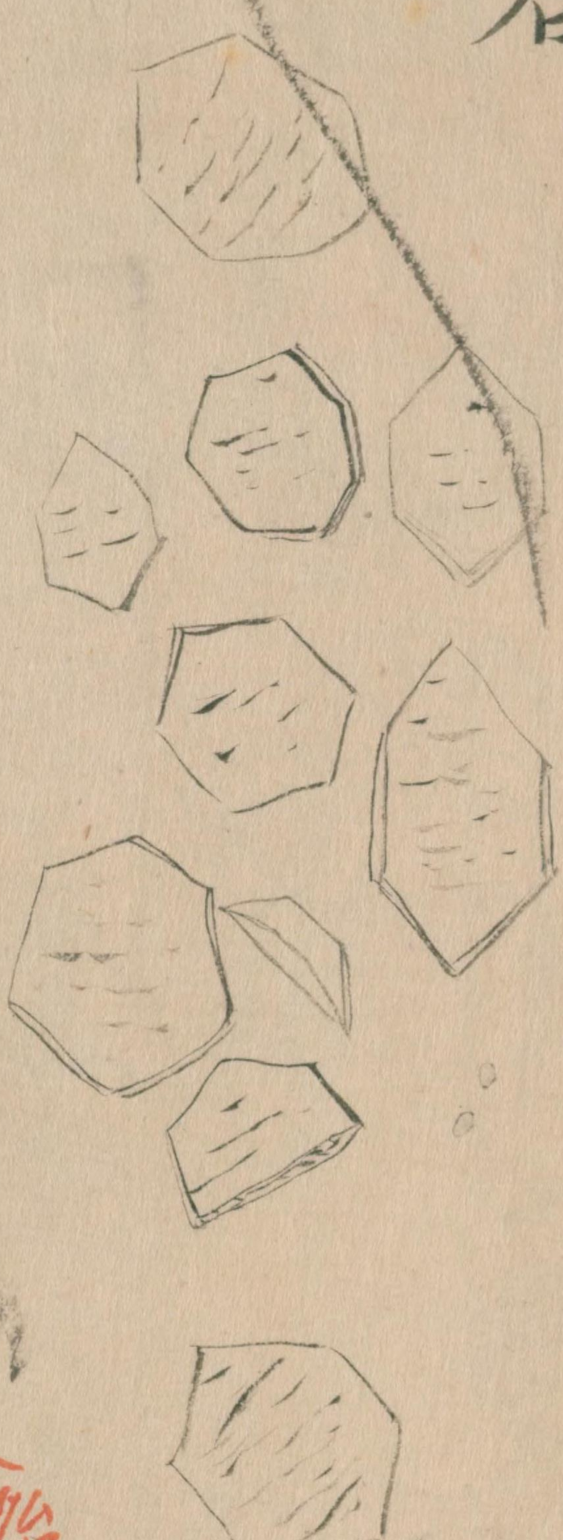


佐渡嶋金山ニ千両水ト称スル物アリ石中ニ含メル
生金ヲ採ル時金石一同ニ用碓舂爲細末於溝中以白布
敷于下ニ以水細〻流シ遏ス金銀生物留ニ止于白布内

砂石者与水共ニ流レテ溝下ニ至ル其下流スル處ノ溜リタル水ヲ俚人呼テ千両水ト云フ能ク諸ノ毒虫人ヲ刺シ腫痛スル者以此水傅痛處立所有験其砂石ノ渣ナル者呼テ世利渣ト云フ能ク銅鐵諸黒ノ鏽ヲ落ス甚奇也

ナリ重人呼テ。津羅ミ石ト称スル者即此ナリ

玄精石



唐山産之者尤為上品。其形片ミ為六稜。其色青黒色也而大小不定

今諸州塩地ニ此ヲ得ル者アリ真物ニ非ス其形長ク六稜ヲ作ス者此即凝水石ナリ或ハ塊ヲ成シ或ハ石英ノ形ヲ成ス阿部照任曰此ノ物津軽領ヨリ松前

若州小濱ノ辺ニ桑邊山有リ山中ニ石アリ其状亦六稜ヲ作ス其色青白シ

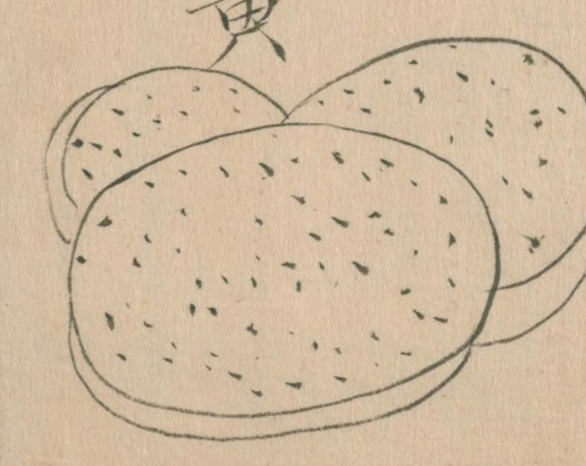
将翁軒 阿部照任曰奥州岩泉村山中巖穴ニ有リ

ヘノ方ヘ行ノ道山ノ険處ニテ此石ヲ得タリ里人呼テ蛇
鱗ト称ス即掘リ採テ　官ヘ進献スル由侍ル本草
ニ曰ク塩気鹵気ノ結成スル者ト此ノ物蓋シ然ルヤ
否ヤ

ノ道傍山岸ノ　東都ニ献ス此ノ者　所謂　果メ

石硫黄

土硫黄



34

磨メ赤玉ニ作ル世ニ以テ珍トス

紫石

佐渡嶋西三川村山中ニアリ其色紫ニメ紫石英ノ如
シ国民採テ玉ニ作ル甚珍物ナリ

密陀僧

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』 請求記号 寄別11-5
ガラス使用

日本諸州藥譜水類

東都隱醫

井泉水

坂上登玄臺著

佐度嶋製塩ノ所ニ是アリ金盧中ニ得ル者真也

銀密陀金密陀ノ別アリ混ズルカラス

青鹽

佐度嶋海邊ニ青塩アリ里人往ヽ採リ得ル者在リ其色微青色ニメ堅シ

菊石 二種

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号　寄別11-5

ガラス使用

武州深川處ニ井泉水ヲ堀入地下ニ数十丈而
有白墡或青黄色而厚二三尺ヲ斷大錐ヲ以
テ撃破ル時ハ即時ニ水涌流ルヿ泉ノ如シ
里人以テ重寶トス水味甚淡クシテ軽シ俗呼
テ堀抜井ト称ス今按ルニ此井水脉ノ來ルヿ
至テ遠シ其白墡石ヨリ涌出スル者尤良シ
青墡黄土ノ者不可又一種紫水井アリ深川
仙臺川岸及大工町北新川ノ處ニ有之人而
多知之其水紫色ナリ同處同泉ニシテ地脉
ノ異ナルヿ亦此ノ如シ甚青水ナリ

36

桂子石 三種

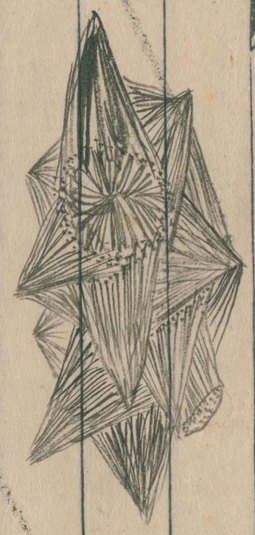
……ス其形

豆州ニ科郷ノ海嶋桂子石ヲ出セリ其形白色ニ
シテ肉ニ黒破アリ器ニ作リ堀水或ハ壜ニ水ヲ入ル時ハ
其味淡クシテ甚清シ紅毛国船中ノ要器ナリ又一種
薩州琉球ノ産ニ岩津しト称スル石アリ最上品也
其色青紅ニシテ紅毛国ノ産ト色質甚相似タリ又三
州稲能熊石モ亦豆州ノ産ニ似タリ其色微青ニシテ脆シ

金絲石

白色ナル者
石州邇摩郡
大国村有リ

石州ノ姉金（アネカナ）ノ山中ヨリ金絲石ヲ出セリ其色金ノ如クニメ束針ノ形ヲ爲ス或曰金色陽起石也又採テ玩物ト爲ス



不曲玉

蛇骨

幾羅石 二種

相州箱根山ノ内一種ノ石ヲ出ス俚人呼テ蛇骨ト云フ其色白クメ脆軟ナリ金瘡出血及ヒ腫ヲ治ス毒虫ノ螫ヲ解スト云フ

重堅ノメ五色ノ文采アリ故ニ櫻ノ名ヲ得ルカ里人磨テ玉ニ作ル

櫻川石 二種

川石ト称スル者即

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号 寄別11-5
ガラス使用

信州舁峠ノ山頂一種之石ヲ産ス其形殆石膏理石ノ韮ニ似テ青白色或ハ青蒙石ノ形ニ似タル者アリ俚人呼テ幾羅石ト称ス又勢州湯ノ山ノ内ニ幾羅石ヲ出ス其ノ形湯起石ノ韮ニ似タリ此ニ附テ以テ識問ヲ待ツ

赤砂

常州鹿嶋郡高天原ノ内赤砂[illegible]其色血ノ如シ故ニ里人呼テ鬼血ト称スルナリ

稲氏曰市家有鷹眼鸕鷀眼大口晶鷹眼最為上鸕鷀眼次之

今肥澄信奥之諸州多出之。其形黄色而潤沢透明。是皆流出於高山石間者。其色青黄也。俗呼名鸕鷀眼。又青黄帯於微赤者。俗呼名鷹眼。今羽州秋田郡山中多出之。尤為上品。又相州箱根山及野州塩原温泉中。出於一種之硫黄。此則本草所謂土硫黄此也。俗呼名湯花。此種不可不辨矣

今按ルニ薩州硫黄嶋及ヒ肥州ノ阿曽山ニ硫黄沸リ皆眞硫黄ヲ出セリ 土硫黄ハ温泉中ニ取リ得ル者ナリ 里人採テ日乾シ売ル 阿部照任曰ク奥州南部此ナリ 部郡向嶽ノ下ニ石硫黄ヲ出ス又岩鷲山ノ内ヨリ此ヲ出ス皆眞物也

鳩京ノ雲龍山
分出ルナリ上品

白礬

唐產之者。尤爲上品。其形殆如水晶石英之輩。又有似太煙消之形者。是皆真物也。今相州野州出一種之白礬。形質虛軟。而味耳酸。或有帯塩気者。此類皆不入薬用。又豊肥之諸州。出於一種之白礬。其味甚酸濇。堪入薬矣。

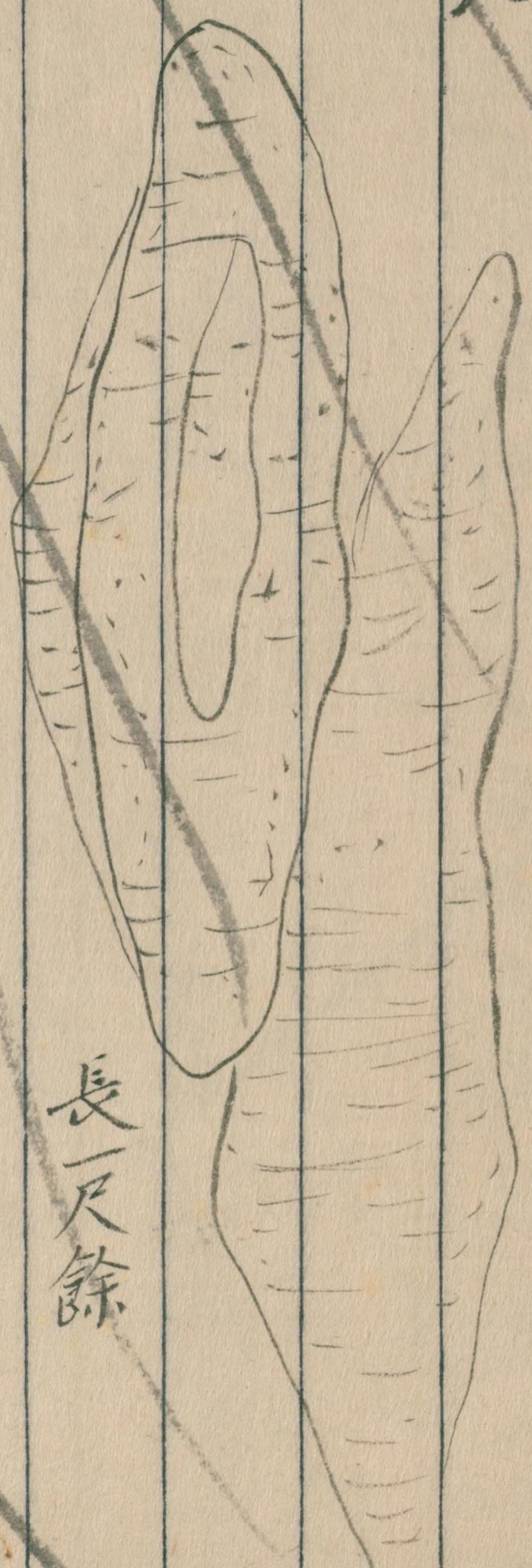
39

今奥州南部領羽州秋田郡及野州足尾山中多出赤銅礬勢州桑名之產殊優之

登梅ルヒ奥州秋田ノ產最モ宜ス上品ト　勢州豊州

ノ皆此類

白鉛



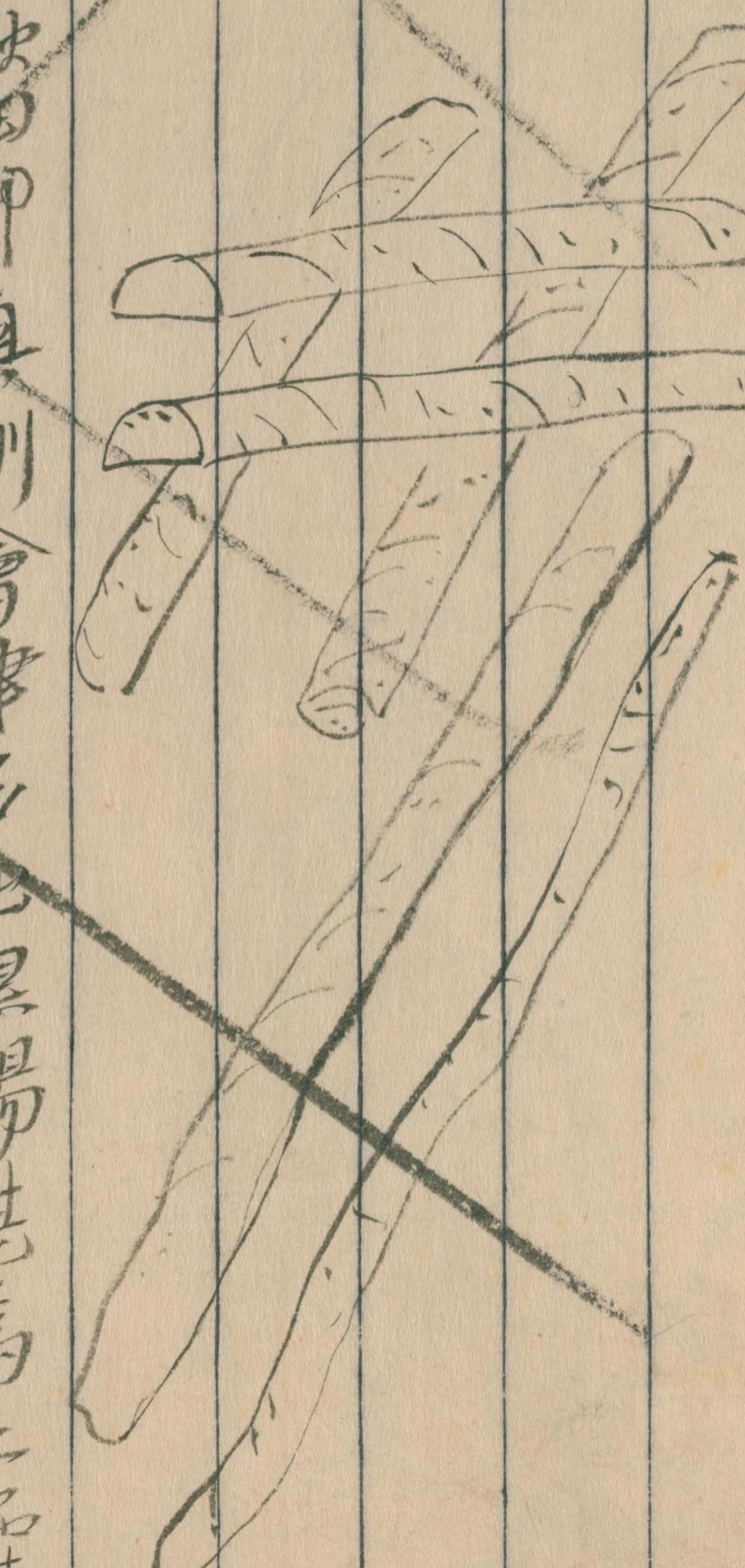
長一尺餘

今豊州多出白鉛其質帯金気也甚爲上品奥州水戸之產次之

黒錫

今羽州秋田郡眞州會津多出黒錫甚爲上品其質柔黒而扣之無響者眞也有音者假也[redacted]鉛也知内有白鉛也

登按ルニ今勢州ノ名豊州ニモ亦此ヲ出セリ錫皮黒色ニメ作石筆者眞ナリ俗呼床錫(トコナミ)ト称スル者アリ



40

切鐵石
試刀石

松前唐嶋(カラスシマ)ヨリ不田玉(ブユ)ヲ出セリ其形凝油ノ如ニメ堅ク其色甚赤色ナリ

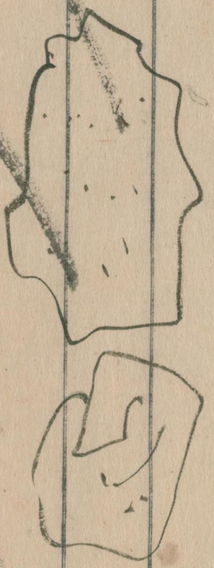
劔石

山州駿馬山僧正ケ谷劔石ヲ出セリ其色微青色ニメ甚堅シ刀双ヲ以テ切リ作スガ如シ里諺曰ク昔時牛若丸僧正坊ト劔術ヲ習ヒシ時此ノ石ヲ切ルト云故ニ里人呼テ切リ出石ト称ス

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』 請求記号 寄別11-5
ガラス使用

石蛤

勢州一志郡柚原村ニ見ル石山ヨリ石蛤ヲ出ス大石ヲ粹キ見レハ内ニ石蛤アリ俗呼テ石蛤ト称ス



文理皆蛤ノ如シ

勢州山田隠岡（カリヲカ）常明寺ノ前ヨリ青淖（アヲヌケ）ヲ出ス

青淖

砒霜石

唐産者尤爲上品其形似石硫黄或白或微紅又有帶微青者煅之而發紅色者真也今奥州南部於曽禮山中出真砒石其色微紅里人呼称大毒石者即是也鳥獣諸虫中之者即死其毒甚猛烈也

阿部照任曰奥州ノ産尤上品トス今野州桑須野原ニ毒石有リ殺生石ト称ス世俗呼テ信石トス此説甚

△又一種上州〇沢村岩中ヨリ出ス此ノ石間黒色ノ石ヲ生ス俗ニ子ツコロシト云テ鼠殺石ト云細末ニシテ食ニ合セ鼠ニ與フル寸ハ即時ニ死ス此レ礜石ノ一種也

誤ナリ此ノ原其形状相似タル者数石アリ尤真ナル者二
種アリ一種ハ其色微青ニメ黒ヲ帯タリ一種ハ其色青クメ
白ヲ帯タリ諸虫此ニ觸ル者亦死ス此ノ毒気ニ中ル者ハ死状
脯ノ如シ其肉甚月腐ルヿナシ故ニ四時常ニ存ス甚奇異ナリ
此則礜石ノ一種ナリ
是皆礜石ニメ砒石ニハ非ス△

禹餘粮

太一　附白餘粮

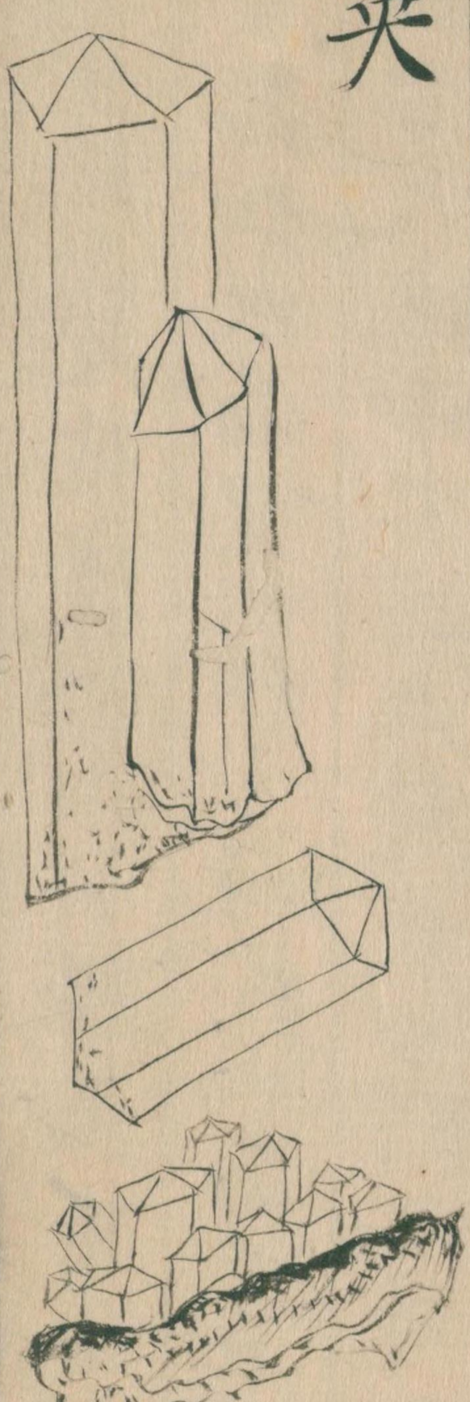
太一餘粮

〇又和州多武峯一種ノ禹餘粮ヲ出セリ甚下品トス薬用ニ入レス

稲氏俗以白色若水精者名水精石

唐産者尤為上品今和州伊駒山及十三峠山中多出太一
餘粮俗呼稱饅頭石者則是也其形大小不一外殻甚
堅而黒渇色内有黄粉又奥州會津天寧寺湯本山
中出白禹餘粮其外殻甚堅而白色殻内有白粉是
亦和産之一種也本草所謂白餘粮即是也
阿部照任曰今奥州津軽山中ニ真禹餘粮ヲ出セリ是亦大
小一ナラズ或ハ石中ニ黄水ヲ含ム者アリ里人呼テ饅頭石ト称ス

白石英



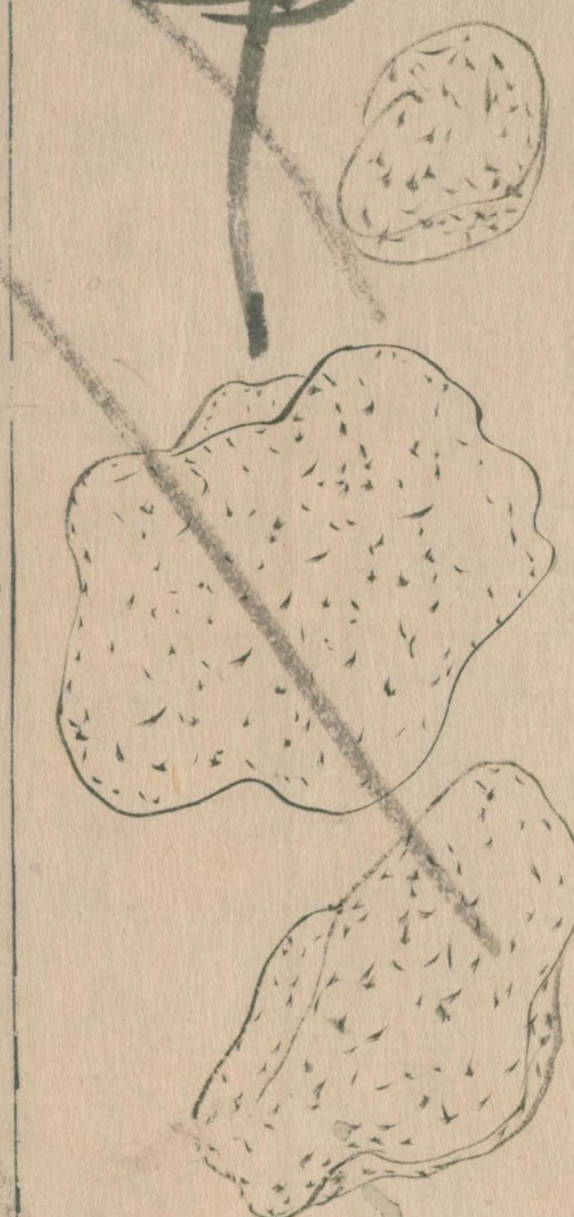
佐渡嶋ニテ言
テチワレ石ト称スル
者則是ナリ
又叙舎利ト為リ

今奥州金花山及佐渡嶋山中多出白石英其形為六稜體質殆如水晶里人往々呼称水晶石者是甚誤也真水晶者大塊而不成六稜故分別之耳

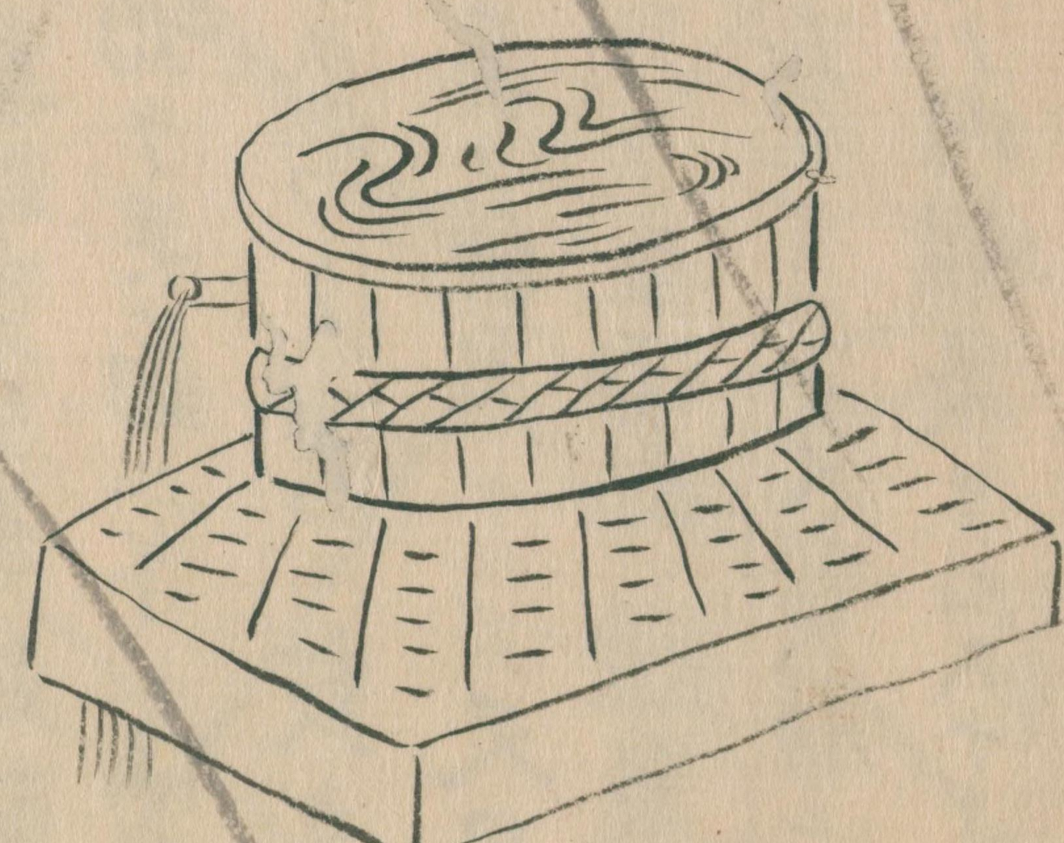
阿部照任曰今甲州金峯山ノ中白石英ヲ出ス里人呼テ水晶山ト云郎採テ武都ニ献スル由傳ル故ニ今改メテ白石英山ト云ス

日向ノ国高千穂ニ水精出ル又芸州宮嶋ヨリ白石英ヲ出 又奥州三春領ノ山

浮石



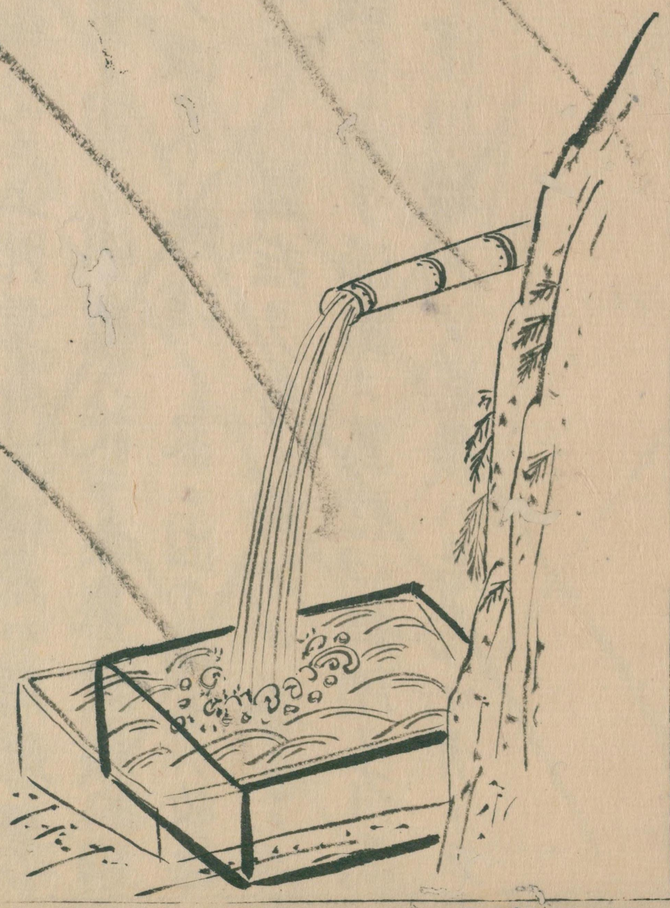
醴泉



武州倉下郡閑村道傍有醴泉里人呼称鰻鱺

井水色濃白而其味甚美也按ルニ醴泉ト称スル者其類一ナラズ考ヒ述ベ盡シ難シ○濃州ニ養老泉アリ始テ灵龜二年ニ涌出ス故ニ年号ヲ改メテ養老ト名ヅク一名ハ鼓ガ瀧又養老ノ瀧ト云ヘリ此泉真ノ醴泉ナルカ又日本紀ニ云持統天皇ノ七年江州ノ益須郡ニ醴泉涌出スト云ヘリ今ニ至テ其旧跡在ルヤ否又寶暦六年丙子ノ夏下總州葛飾郡ノ内醴泉ヲ出スト其説詳ニ醴泉祥瑞説ノ中ニ載ス故ニ今此ニ略ス

温泉



相州箱根山處ゝ温泉アリ其氣ヲ熏シ煙消ノ氣ヲ伏シテ涌出ス或塩気ヲ伏シ礬石ノ氣ヲ伏シテ涌出ス又土硫黄

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』 請求記号 寄別11-5

ガラス使用

ノ氣ヲ發スルアリ各ゝ症ニ應シテ病ヲ治ス豆州熱海温泉ハ鹽氣ニ因テ涌出ス野州鹽原ノ温泉ハ礬石鹽相交ル上州草津ノ温泉ハ膽礬石礬石硫黄ノ氣ニ因テ涌出ス故ニ毒氣更強シ同州伊香保ノ温泉ハ煙消ノ氣ニ因テ涌出ス故ニ婦人ノ血暈頭痛ノ諸症ヲ愈ス野州中善寺ノ温泉ハ礬石鹽氣ニ因テ涌出ス篤信曰攝州ノ有馬山和州ノ十津川豫州ノ道後ハ名湯ナリト云

絲瓜水

即絲瓜釜中之水也每歳八月十五夜以海水滿盈之時地上一尺五寸以利刀截斷絲瓜釜而以蔽口受釜頭一夜釜下釜其水自下俗呼称絲瓜水也爽飲諸癊ヲ治スル極テ妙シ梭ルニ此水堅閉

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号　寄別11-5

ガラス使用

方集解称鉶羅水者即是也

石英水

佐渡嶋ノ金山巖窟及穴中出白石英其形六稜而大小不齊白色透明殆与水精無異但石中水ヲ含ミテ動搖往來ス一名ハ斂舎利又吹破石(フキワレイシ)ト称ス

日本諸州薬譜火類

寒火

肥州海中毎歳七月廿九日之夜發於火光俗呼曰筑紫不知火或船ニ乗リ行テ見之火光無見人〻不知其根本故名不知火是即蕭丘寒火ノ類也

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号　寄別11-5
ガラス使用

陽焰

篤信曰下野室ノ八島ノ烟是ナルベシ古可可ニ多ノ讀メリ總社村總社八幡ノ前ノ前ニアリ池ノ中ニ小嶋八アリ故ニ八嶋ト云嶋ノ大サ各方二間許アリ今八澤八涸キテ水ナキ故ニ烟モナシ昔八此澤水

今藥肆。称寒水石者。皆方解石也。非真物。石膏一名寒水石。方解石一名寒水石。凝水石一名寒水石。三物皆同名。而物異也。不可不辨矣

今武總下諸州海邊多ノ此有リ圖塩ノ気。地下ニ滲入ニテ形ヲ成スモノ也。其形如氷糖ノ如リ又水色ヲ爲スモノ真ナリ此物水中ニ投ズル寸其色不見ヘ若則真

線書

一ヲ海東諸国記ニモ記ルセリ琅瑯代酔ニハ火出ル泉ヲ
火井ト云文選ノ謝恵連雪賦ノ註ニ銑曰蜀都有
火井中常ニ自出火云云

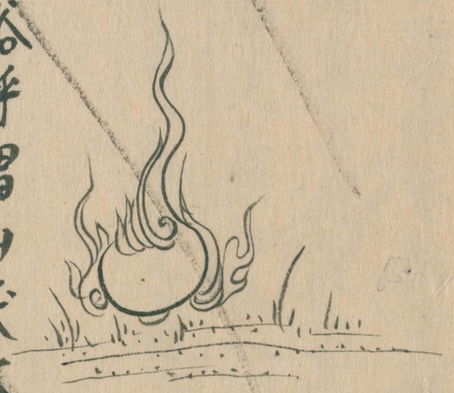
越州蒲原郡今稀九カカハ沢山内ヨリ真綠青ヲ出セリ又和州吉野郡北山郷野村天下瀬山中ニ石綠ヲ出スナリ

線青則石綠。画工呼。称岩綠青者。則是也。今出於金銅（銅山坑中）
處。多有之。又玉工呼旨称孔雀石者。多出於高麗者国（高麗者疑則石綠也今）
良。此則石綠也（或磨以作玉甚良）
此物巖宂ニ採リ得ル者良ナリ又一種銅綠アリ今業肆ニ呼テ奈
良綠青ト称スル者即是也銅器ヲ以テ塩水ニ浸シ此ヲ作ル両種倶ニ
相似タリ混スベカラス

石灰

ヨリ烟立ヒトヽ云ヽ是即澤中之陽焰也

燐火

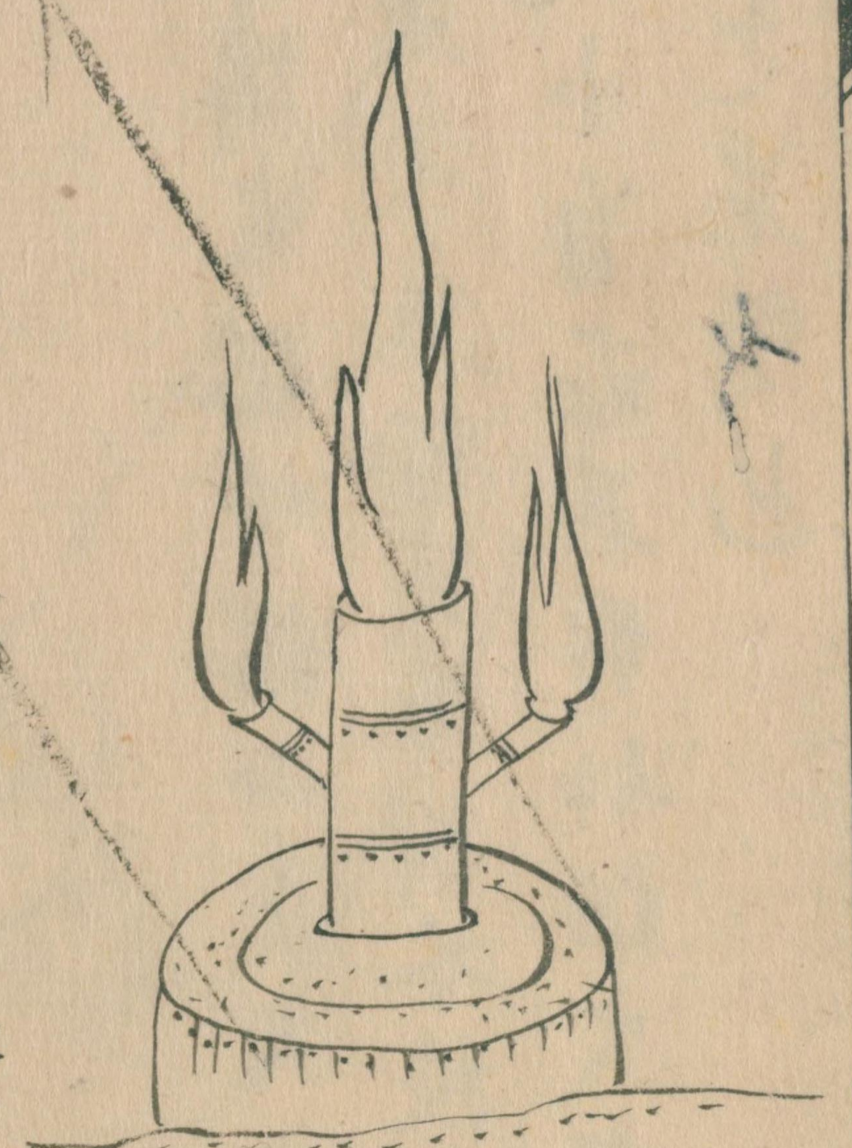


勢州雲津有燐火俗呼謂山茨火小雨濕潤之夜毎ニ大ニ走シテ無極或有樹木枝或有田澤草間而大小自在其形如炬火老更青ヒ是即野狐之鬼燐也

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』 請求記号 寄別11-5

ガラス使用

火井



越後州蒲原郡如法寺村有火井以石盤置井之上中央ニ竹筒ヲ挿入レテ燈火ヲ以テ竹筒ノ口ニツケウツス時ハ筒上ニ然（モヘ）テ晝夜不絶篤信曰越中ノ立山肥前ノ島原日向ノ霧島豊後ノ鶴見原ナトニアリ廣キ池ノ熱湯ナルモアリ日本ニ火井ノ多キ

50

黒物	白ニサ	赤石	鉛子ノ頭	ソバカハ	髪毛
グサ	青グサ	フスベ	ビロウド	焼刄	トタン
トタンチバハ	シヤタイ	ススベ黒物	フスベ白ニサ	ボウ	
カル白ニサ	ハイノフン	セツタノ皮	ロツホウ	ニサ	
サルツラ	カル	サル白ニサ	ソバカスケ	トタン白ニサ	
硯	大銀	大白	ギラ	ギラカスゲ	
カワラケ	ギラ黒物	ボロ	グサツキ	鳥ノキモ	
スバイ	松皮	チヤノハ	赤ヤケ	赤保呂	
白ハイロ	カワラケシボメ	浅カワラケ	白カワラケ		
ゲトウカワラケ	スイビ	牛ノ皮	黒	黒ボコ	

テクヒ銀

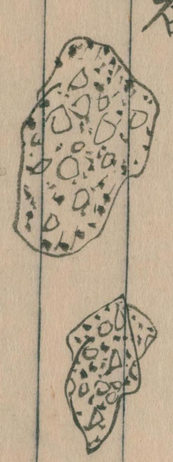
寸カミ　ホウ子バ

銅菊石

佐渡嶋金山中ヨリ出ス其色銅ノ如シ故ニ銅菊ト称ス

木草ノ輸石ニ似タリ

銀星石



佐渡嶋海濱ニ菊石ト称スル者アリ其形菊花紋ヲ為ス一種枝状ヲ為シ巔頂皆菊花紋ナス玩物ト為ス

火燧石

佐渡嶋西三川村山中ニ燧石ヲ出ス其形薄片ニシテ玲瓏タリ殆ント蝉翼ニ似タリ里人呼テ合石ト称スル者即是ナリ金銀石此名アリテ能ク敲ト者ストイヘリ

松石

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号　寄別11-5

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号 寄別11-5

ガラス使用

武州千束郷池上村本門寺堂前有松石其根
松樹ノ如シ石牌ノ文云々能州海濱ニ出ル大者二
三尺圍一尺以来其堅キ事鐵ノ如シ
葡萄石二種

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号　寄別11-5

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号　寄別11-5

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号 寄別11-5

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』 請求記号 寄別11-5

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』 請求記号 寄別11-5

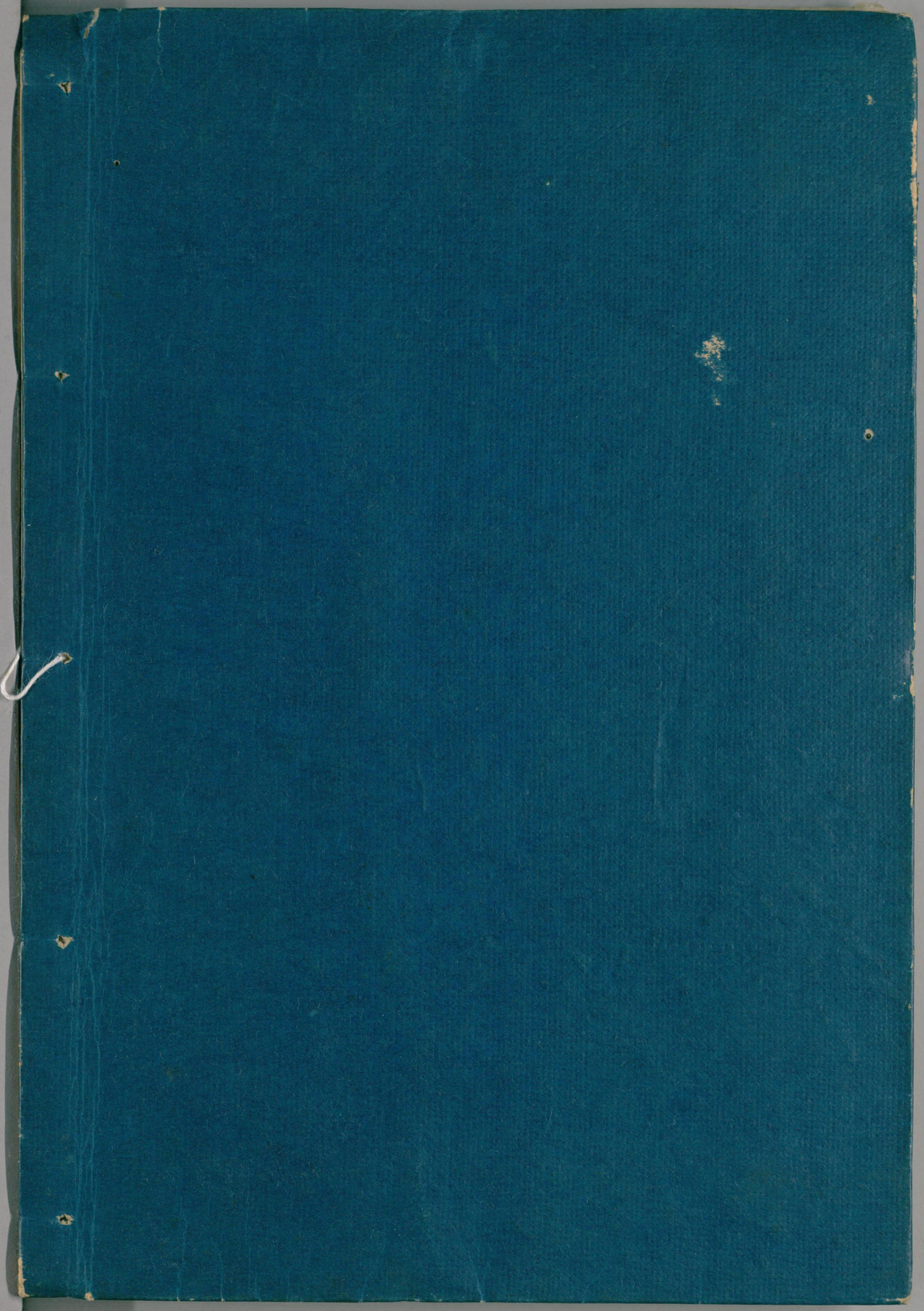
ガラス使用

寄 7
33

別 11
5

国立国会図書館　タイトル『日本諸州薬譜』 請求記号 寄別11-5

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『日本諸州薬譜』　請求記号　寄別11-5

ガラス使用